

我孫子市国際交流協会 30周年記念誌

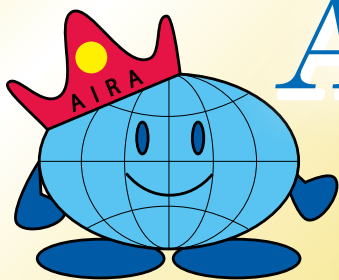
AIR A

ABIKO INTERNATIONAL RELATIONS ASSOCIATION



30th

Anniversary



目次

1. ご挨拶 ご祝辞	2・3
2. 30周年記念座談会「AIRAの設立から、これからのAIRA」	4～8
◆事業編	9
1. 設立30周年記念式典	11
2. あびこ国際交流まつり	12・13
3. 国際交流スピーチ大会	14
4. 東葛地区国際交流協会連絡協議会	15
5. 外国語会話講座	16
・英会話（入門・初級）	17
・英会話（初中級・中級・上級）	18
・中国語会話（入門・初級・初中級・中級）	19
・中国語会話（上級）・ドイツ語講座（初中級）	20
・フランス語会話（初級・初中級・中級・上級）	21
・韓国語会話（入門・初級・中級）・スペイン語会話（初中級）	22
6. ジャパン・パード・フェスティバル（JBF）	23
7. 通訳学習会	24
8. 翻訳学習会	25
9. 学校派遣（日本語指導）	26
10. AIRA イブニングクラス（日本語）	27
11. 「留学生が先生！」	28
12. イヤーエンドパーティー	29
13. 国際交流バスツアー	30
14. 国際交流パーティー	31
15. ホームステイの受け入れ	32
16. 小学校の英語教育及び異文化交流	33
17. 外国人のための文化講座	34
18. 日本語の教え方講座	35
19. 外国人のための日本語教室	36・37
20. 「外国人のための日本語教室」の託児サービス	38
21. 外国人相談窓口	39
22. 異文化理解講座	40
23. 我孫子国際野外美術展	41
24. 『北アリゾナ大学旅行団』の訪問	42
25. 『スロベニア共和国代表チームの市内事前キャンプ』	43
26. 会員からの投稿	44・45
◆資料編	47
1. 会員数の推移（2011～2020年度末）	49
2. 歴代役員等名簿（2011～2021年度）	50・51
3. 賛助会員（2021年4月1日現在）	52
4. 組織図	53
5. 規約	54・55
6. AIRAの活動年表（2012年4月～2021年12月）	56～59

我孫子市国際交流協会（AIRA）設立 30 周年を迎えて



我孫子市国際交流協会 会長
市川 仁

我孫子市国際交流協会（AIRA）は、1992年（平成4年）、発起人の皆さまによる設立準備を経て11月21日に設立されました。それ以来、運営関係者や多くの会員の皆さまのひたむきな熱意、そしてAIRAの運営にご理解をいただいている我孫子市及び賛助会員の関係諸団体のご理解とご協力のもとに運営内容の充実を図りながら発展してまいりました。そして今、30周年という記念すべき年を迎えることができましたことを大変うれしく思い、また感謝の念にたえません。

さて、AIRAは現在、5つの部会が中心となって運営され、各部会がそれぞれ国際交流に係る事業活動を行っております。事業内容は、外部関係諸団体との連絡調整、AIRAのPR活動、ホームステイや姉妹・友好都市との交流、外国語研修講座及び日本語講座の運営、通訳ボランティアなど多岐にわたっております。

およそ2年ほど前までは順調に活動が続いてきておりましたが、ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、諸々の活動を制限せざるを得ず、停滞を余儀なくされてしまいました。AIRAにおいては「人々の交流」こそ第一義的な目的であり、AIRAの命ともいえるべきものなのですが、コロナ禍によってこれを阻まれてしまいました。それでも今、少しずつ希望の光が見えてきていますので、今後に望みを託していきたいと思えます。また、これを機に、コロナ以後のAIRAのあり方を見据えてゆくことが、AIRAに課された課題の一つではないかと考えております。

ところで、グローバル化とか異文化交流という言葉が叫ばれて久しいのですが、そのベクトルは、今では、それにとどまることなく、様々な価値観の共存を受け入れる多様性と包含性を備えた社会の構築へと向かっています。

市民レベルでの国際交流事業を行うということは、日々の生活の場で、私たち一人ひとりが多様な価値観に触れ、それを互いに理解し合う機会を得るということでもあります。それはとりもなおさず、多様性を受け入れる素地を養うこととなり、ひいては広い意味での平和共存への大きな架け橋ともなっていくのだらうと思えます。このような点からも市民レベルの国際交流組織はその存在意義においてますます重要性を増していくはずで

そのような使命を果たすべくAIRAが、この先も歴史を重ね、なおいっそう充実した組織となっていきますよう、今後ともご理解とご協力をお願いする次第です。

我孫子市国際交流協会設立30周年に寄せて



我孫子市長
星野 順一郎

我孫子市国際交流協会設立30周年、誠におめでとうございます。

貴協会の活動に長年にわたり携わってこられた皆様のご尽力と熱意に心から敬意を表します。

一昨年（2020年）から世界中で猛威を振るい始めた新型コロナウイルス感染症により、国際交流は大きな困難に直面しました。しかし、このような中でも、皆様はオンラインでの講座など時代に即応した取組を進めてこられたほか、昨夏（2021年）の東京オリンピックでは、市が受け入れたスロベニア共和国代表選手の事前キャンプ等で、選手と行動を共にして通訳を行うなど多大なご協力をいただきました。こうした皆様の活動に、心から感謝を申し上げます。特に、事前キャンプ等での貴協会の活動については、ホストタウン交流に極めて顕著な貢献をされたことが認められ、内閣の東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣より感謝状が贈られました。

さて、発足から30年の間、貴協会は市民向けに、文化体験講座や語学講座、在住外国人を対象にした日本語教室など、様々な国際交流と学びの機会を提供してこられました。日本語教室は、在住外国人が日本語を学ぶだけでなく、日常生活について気軽に相談できる場にもなっているほか、日本語指導のための学校派遣事業では、日本語の支援を必要とする児童・生徒に対して、ボランティアスタッフによる日本語指導が行われており、子ども達がいきいきと学校生活を送るうえで大変意義のあるものとなっています。また、「あびこ国際交流まつり」は、例年多彩なプログラムが企画され、国際理解を深める場として定着しています。

グローバル社会の進展により、私たちは、食生活や風習、家族のあり方、宗教など、国籍・地域によって異なる多様な価値観に触れる機会が増えました。国籍や民族などの異なる人々が同じ地域で生活していくとき、互いの違いを認め合い、互いに学び、その上で、共に地域社会の一員としての視点をもつことが大切です。こうした多文化共生社会の実現に向けて、市では、今後も、交流の場や情報を提供するなど、互いの文化への理解を深められるような環境づくりを進めるとともに、外国人の皆さんも暮らしやすいまちづくりに取り組んでまいりますので、引き続きご協力いただけますようお願いいたします。

結びに、貴協会の皆様方のご健勝と、今後ますますのご発展を心からお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

『AIRA の設立から、これからの AIRA』



AIRA は設立から 30 年経ち、設立時からの外部環境は大きく変化してきました。AIRA の活動はこの間変化に対応する努力を重ねて現在に至っています。今一度設立時の原点を振り返り、これからの AIRA の進む方向を見つけないかと思ひ、座談会を企画しました。

出席者は、設立に関わった方、AIRA 会長経験者、活動に関わった方です。

【出席者】 ※左から

木川敏子（広報部会：進行役）

青木 章（我孫子市副市長）

市川 仁（AIRA 会長・中央学院大学学長）

早坂 満（交流部会長・元 AIRA 会長）

渡辺泰子（日本語ボランティア）

坂詰宮子（事務局）

木川：30 周年を記念して、過去を振り返るとともに将来のことも皆さんでお話できればと思っております。まず、青木さんから設立当時の我孫子市の状況、設立に至るまでの経緯をお話してください。

< 設立の頃 >

青木：AIRA 設立の 1992 年当時、21 世紀を前にした課題として大きく捉えていたのは、少子高齢化、情報化、国際化の 3 つでした。平成 3 年（1991 年）度からスタートした我孫子市の第二次基本計画では国際化への対応を重点事業に位置づけ、平成 4 年（1992 年）に第一次我孫子市国際化推進基本方針を



青木 章さん

策定しました。その方針には国際化推進母体の創設を謳っています。当時、市内には「我孫子国際交流の会」、「我孫子カルチャー&トーク」、

「我孫子市国際理解交流協会」の 3 つの団体が国際交流活動を行っていました。各団体と協議の結果、市と共同で国際化を推進する団体を設立して国際化を進めることになり、市民と行政が一体となった推進母体「我孫子市国際交流協会」ができました。「我孫子国際交流の会」は宇田川さんを中心に活動していた市内で一番古い団体です。

木川：「我孫子カルチャー&トーク」は海津さんを中心に、1990 年から日本語にフリガナを付けた新聞「地球トーク」を出していました。

青木：「我孫子市国際理解交流協会」は福尾さんが中心で、市の公民館講座で国際理解・国際交流の講座を学んだ卒業生の人たちが立ち上げ、まだ活動を始めたばかりでした。

木川：そういう団体と交渉しながら設立に向けて動き出されたわけですがけれども、企画課が中心になって進められましたね。

青木：はい。市も関わって設立するわけですから幅広い方面の皆さまの理解と協力を得ることが大切と考え、様々な団体に足を運び、発起人会や設立準備会を組織して設立記念行

事を企画しました。ちょうど「我孫子カルチャー&トーク」の古林さんの伝手でアメリカからミュージカル劇団「サンタモニカ劇団」を呼べることになり、1992年2月に市民会館でミュージカル「シンデレラ」を上演しました。有料なのに1,000人収容のホールが通路まで観客でいっぱいになる程超満員で、ものすごい人気で盛り上がりました。

木川：同時に市民会館のホワイエでは「世界子ども絵画展」も行われましたね。各国に子どもの絵の送付を呼びかけたら沢山集まりました。外国の子ども達の絵に日本では見ない風景、色使い等それぞれの国のオリジナリティーが出ていて、ミュージカルと共に記憶に残る記念行事となりました。

<設立後>

木川：10周年記念誌にあるAIRAの年表を見ていきますと、1992年11月21日、第一回総会で我孫子市国際交流協会を設立し、交流部会、ボランティア部会、総務部会、研修部会、広報部会の5部会で発足しました。

市川：その時、3団体は合併したのですか？

青木：「我孫子市国際理解交流協会」は解散しましたが、他の2団体は存続し活動しながらAIRAの活動も一緒に行っていました。意見の違いもありましたね。

木川：会長は石本三郎さん、副会長が畠山商工会長と小松純子さん。

青木：3団体から会長、副会長を出すという案もありましたけれど、地元の大学の学長に会長をお願いしました。

木川：海津さんが広報部会長、宇田川さんが交流部会長、福尾さんが研修部会長、小松さんがボランティア部会長になりました。11月に設立、翌年3月に第一回あびこ国際交流まつり開催、会員数は337人でした。第一号の会報誌も発刊されています。会報誌は広告代理店を経営していた松本さんが制作しましたが、後に広報部会が編集を引き継ぎました。

市川：最初はどのような外国語講座があったのですか？

青木：93年6月に英会話講座初級中級、続いて中国語講座が始まっています。

坂詰：中国語講座は、真仲火四郎さんが中央学院大学の教室を借りて行っていました。英会話講座は公民館等を借りていました。真仲さんは残留孤児の人たちのお世話をしていたので中国語講座を開設した様です。フランス語、スペイン語も早くから始まりました。

木川：93年9月、日本語ボランティア講師養成講座、外国人のための日本語教室も始まっています。また、第2回フレンドシップパーティーがアルカディアで、五本松公園でバーベキューも行っています。

<日本語教室の委託>

木川：日本語教室の運営について、渡辺さんからお話ししていただけますか？

渡辺：間瀬さんが個人で公民館で日本語教室を開いていました。AIRAで日本語教室が開かれると同時にAIRAに引き継がれました。土曜日の午後に行っていましたが、午前中にも



渡辺泰子さん

開いてほしいと要望があり、火曜日の午前中も始まりました。私はこの時から火曜日教室に参加しました。当初ボランティア講師の方たちは独

学で勉強しつつ教えていましたが、その後自分たちで日本語教授法の講師を呼んで「日本語ボランティア講師養成講座」を立ち上げ、日本語で日本語を教える直説法により、学習者のレベルにあった教え方を学びました。

当時、教室に使う公民館などの部屋は抽選で申し込むので、外れると教室が開けませんでした。学習者が60人位来たのですが、

公園に行ったり買い物練習にエスパに行ったり、また自宅を使用して行ったこともありました。年々外国人が増えたので、消防署、市の都市改造事務所や郵便局、商工会の会議室の使用をお願いしたりしました。そんな風に困っていた時に市の委託事業になり部屋を確保できることになり、その時は本当に嬉しかった。

また、当時の福嶋市長が AIRA に来られた時、辞書を要望し、その後 AIRA の予算で教材、教本など買って貰えるようになりました。

< 教え方講座 >

木川：正式に我孫子市の委託事業になったのですね。AIRA では日本語をどの様に教えるのですか？

渡辺：日本語で日本語を教える「直接法」です。学習者の母国語は使わないのでカードをつくったり実物を持ってきたり色々工夫します。ボランティア講師は、講師養成講座を終えた人になるので、募集すると 100 人位の申し込みがありました。

坂詰：講師養成講座は、当初日本語教室が企画管



坂詰宮子さん

理運営をしていました。途中から日本語教室主催から研修部会主催になり、外国語講座と同じ扱いに変わりました。ボランティア講師が多くな

ってましたので、養成講座終了後全員が日本語教室で指導出来ない状態になりました。

渡辺：養成講座は研修部会に移りましたが、講師選定、カリキュラムについての要望や打合せ等の詳細なことは、日本語教室が行っています。

木川：受講生について、何かエピソードがありますか？

渡辺：日本語を教えてよかったと思うことは沢山

あります。日本人男性と結婚して我孫子に来られ、一から日本語の勉強をしながら仕事に就き、数年後夏休み前に自国に残っていた子どもを呼び寄せたので、私達はチームを組んで夏の間に日本語の特訓をし、2 学期からの入学に備えたこと。残留孤児の方とその家族全員が来られ、年を取ってから外国語を習うことは想像以上に大変だということを実感しました。

木川：そうやって一人ひとりの人生に寄り添ってきたのですね。

< 学校派遣 >

木川：学校派遣はどのような経緯で始まったのですか。

渡辺：私達は最初年少、年中児童の通訳に入りました。その時これは通訳するのではなく、日本語を教えなければと思いました。担任の理解があり別室で日本語を教えました。以後、通訳としてではなく日本語を教える必要性があると毎回感じました。

坂詰：外国からの児童が我孫子市内の学校に編入すると、教育委員会からその国の言語の通訳依頼が来ます。柏市や他の市では既に、別室で個別に教える「取り出し授業」が行なわれていました。我孫子市だけが取り組んでいませんでした。そこで、「このままでは児童がかわいそう。通訳だけをしていたのでは学べない」との話を聞き、当時の会長が日本語ボランティアの渡辺嘉之さんと坂上一二三さんの二人を連れて教育長に直談判に行き、当時他市で実際に学校派遣の指導を行っていた渡辺嘉之さんが柏市などの例を挙げて話をして訴えました。結果当時の教育長も理解して下さり学校派遣がスタートしました。取り出し授業で児童は日本語を学ぶことで学習の理解が進んでいます。

渡辺：先生方の意見は、通訳がいる事で、日本の学校生活に慣れるのが早く、保護者との連絡もスムーズなので安心して預かれると言う事です。

坂詰：当初は押しかけボランティアと言って全て日本語支援者側の負担でしたが、今は教育研究所から交通費としての費用負担があります。

<外国語講座>

木川：次に、外国語会話講座の運営について最近はどうですか。

坂詰：講座受講生は2011年がピークです。最近では趣味の多様化で新規の学習者が少なくなっています。また学習者の高齢化と家族の介護者が増え、開講する時は最低定員数が確保できない講座もあります。子供向けの講座とか従来のとは別のやり方を工夫する必要があります。外国語講座の運営はますます難しくなっていくことが予想されます。

市川：昔と違ってインターネットで勉強する等いろんな形で勉強ができる。また、昔は外国文化への憧れが外国語を学ぶ動機にもなっていた。今は映像などで現地に行かなくとも触れることができますね。

渡辺：日本語教室では2020年5月からコロナ禍でオンラインで授業を始めています。中国に帰国した人がオンラインで学習を続けたいということもあり、学習方法が変わってきています。

市川：語学だけを学ぶ場合は比較的オンラインで



市川 仁さん

すね。半面、対面では学ぶ雰囲気や仲間づくりの利点もあります。これからはオンラインを取り入れたハイブリット式を取り入れる時代と思われます。オンラインは、教室がない、体調が悪い、電車が止まった時などは自宅で学習ができるので便利です。

渡辺：在宅での学習では、仕事からクタクタになって帰宅しても、スイッチを入れれば勉強ができるということもあって、日本語教室

ではオンライン授業になって欠席者は少なくなりました。

市川：AIRAは設立から30年になります。従来の形だけではなく、オンラインも取り入れた講座など、見直す必要がありますね。

<これからのAIRAの目指す方向>

木川：増加する在住外国人に対して、今後のAIRAの目指す方向についてお伺いします。

AIRAの外国人会員の状況はどうですか？

坂詰：現在の外国人の会員登録者は92人で全体の2.2%と外国人の割合は低いです。日本語教室の学習者はAIRAの会員にならなければいけない、という決まりは無く、自主的な入会を待つしかありません。

渡辺：日本語教室では会員になってほしいと案内していますが、会員になって国際交流活動をしようという意識よりも、早く日本語を覚えて仕事をしたいという意識が強いです。また、オンラインではボランティアと自宅対自宅の関係なので、AIRAとの繋がりがなく、存在が感じられなくなっています。AIRAで外国人との交流活動を希望している学習者もいます。

坂詰：AIRA会員になると外国人にとって楽しい事があるとか、何かプラスになるものがある、役に立つことがある等を見出して頂ければメンバーになってくれると思います。今、オンライン授業になりなおさら事務局と外国の人とが会う機会がなく、AIRAとの関係が遠のいている感じがします。外国人に会員になってもらう事は、他の国際交流団体でも抱えている大きな課題です。

木川：自分から進んで入会するには、どうしたらいいですか？

坂詰：外国人の方に役割、例えば通訳や外国人相談等自分が活動出来ると思う内容の事業があることを知って頂ければ、メンバーとして残ってくれると思います。

早坂：AIRAは、外国人の方を支援し、その方が我孫子で自立して生活できると離れていく。

それはそれでいいと思います。外国人は外国人同士でネットワークを持っています。他から我孫子市に来た時にその国のネットワークを紹介するつなぎ役が出来れば、AIRAの一つの役割を果たせたと思います。

外国人の他、中学生、高校生、大学生にももっと活動に参加してほしい。スピーチ大会をきっかけに国際的感覚を持ってもらい、活動に参加してほしいと思います。

木川：行政として今後の国際交流はどのように考えていますか？

青木：我孫子市の国際化推進方針は2回改正されていますが、その中で「外国人も住みやすい、暮らしやすい」と言う柱は変わっていません。様々な生活情報、相談窓口、日本語教室、あるいは広報で様々な情報を翻訳して提供する、これらの生活支援は重要でこれからも引き続き続けなければならないと考えます。

また、最近特に地震等の自然災害に対しての緊急時の情報提供を、英語だけではなく多言語でも行わなければならない。これらの情報提供は役所だけでは出来ないのも、AIRAの皆さんと連携し協力しながら外国人を含む市民の皆さんの生命財産を守り続けなければならないと思います。

木川：大学の学長の立場から見たAIRAについてはいかがですか？

市川：大学の使命には地域貢献があり、市役所と協力しながら行っています。それと同様に、自治体の中にAIRAのような組織が存在することは、行政を補完し、行政の出来ないことができますので、重要な意味があると思います。長く続いてほしいと思います。

木川：早坂さん、課題として考えるものについてお聞かせください。

早坂：先ほど述べました若い学生たちを引き入れたい事と、賛助会員をもっと増やせないかと言うことです。外国人を支援するほか、我孫子にいる日本人に国際的な感覚を持ってもらう。今の時代、外国人の方と一緒に暮らしている社会ですので、いろんな方に国際

的な感覚・意識を持ってもらえるといいですね。最近外国人・日本人と分けられない人達（ハーフとかダブルと言うか）が増えています。つまり、外国人という言葉がなくなる社会になるためには、いろんな方にアプローチをすべきと考えています。



早坂 満さん

また、AIRAの後継者の問題も課題で、AIRAの組織に影響しますので、活動の実働メンバーを増やせるよう検討したいと思います。

坂詰：AIRAでは外国語に堪能な方のボランティア登録をしています。英語の方は通訳や翻訳で活動の機会が多いのですが、その他のベトナム語、ロシア語等はほとんど活動の場がないので退会されてしまう。災害発生時には多言語での対応が必要になってくるので、その様な貴重な人材の集りや活動の場があると良いと思います。

渡辺：市内には中国人はじめ多国籍の方々の集まりが存在している様です。その人達の組織とAIRAが中心となって繋がれば本当の国際交流が出来ると思います。

木川：私はAIRAができる前から市民活動に関わってきて30年経っていますが、どの市民団



木川敏子さん

体も「後継者不足、会員減、新規加入者なし」と同じ問題を抱えています。皆で考えていかなければいけないし、ただ考えているだけじゃダメ

で、1つずつ実行して駄目だったら、次のことにトライする行動が必要かなと思います。

今日はどうもありがとうございました。

事業編

1. 設立 30 周年記念式典	11
2. あびこ国際交流まつり	12
3. 国際交流スピーチ大会	14
4. 東葛地区国際交流協会連絡協議会	15
5. 外国語会話講座	16
・英会話（入門・初級）	17
・英会話（初中級・中級・上級）	18
・中国語会話（入門・初級・初中級・中級）	19
・中国語会話（上級）・ドイツ語講座（初中級）	20
・フランス語会話（初級・初中級・中級・上級）	21
・韓国語会話（入門・初級・中級）・スペイン語会話（初中級）	22
6. ジャパン・バード・フェスティバル（JBF）	23
7. 通訳学習会	24
8. 翻訳学習会	25
9. 学校派遣（日本語指導）	26
10. AIRA イブニングクラス（日本語）	27
11. 「留学生が先生！」	28
12. イヤーエンドパーティー	29
13. 国際交流バスツアー	30
14. 国際交流パーティー	31
15. ホームステイの受け入れ	32
16. 小学校の英語教育及び異文化交流	33
17. 外国人のための文化講座	34
18. 日本語の教え方講座	35
19. 外国人のための日本語教室	36
20. 「外国人のための日本語教室」の託児サービス	38
21. 外国人相談窓口	39
22. 異文化理解講座	40
23. 我孫子国際野外美術展	41
24. 『北アリゾナ大学旅行団』の訪問	42
25. 『スロベニア代表チームの市内事前キャンプ』	43
26. 会員からの投稿	44

設立 30 周年記念式典

2021年11月28日（日）、あびこ市民プラザにおいて設立30周年記念式典を開催しました。

新しい21世紀を控えた1992年、市内で活動していた国際交流団体が力を合わせて「あびこ国際交流まつり '92」（2月）を開催し、サンタモニカ劇団の上演など大成功を収めました。この力を基に同年11月21日AIRAは設立されました。今年で30年になります。30年の記念として式典を開催しました。

式典は、県職員、県議会議員、元会長、我孫子市議会議員、近隣国際交流協会、賛助会員、理事・監事等約50名の方の列席のもとに、木田ワサナさん（タイ出身）と大崎紀子さんの司会で始まりました。



市川会長

市川AIRA会長は挨拶の中で、「コロナ禍で式典の開催が危ぶまれましたが、開催でき感謝致します。AIRAが市民レベルで国際交流活動が出来たことは市民皆様の理解と協力によります」と謝意を述べました。



青木副市長

来賓代表の挨拶として星野我孫子市長は、AIRAの日本語指導、小中学校での児童生徒の支援、今夏（2021年）のオリンピック選手の事前キャンプ通訳派遣などの諸活動に謝意を述べるとともに、「市民の国際理解促進に貢献して頂き、外国出身者の考え方・文化・宗教等の違いを理解し受け入れながら国際社会が進むことを期待します」とAIRAの活動への期待を述べました。

AIRAは設立以来「身近な生活の場における市民主体の活動を通じて、市民一人ひとりの国際化を推進」するために、1993年の「外国人のための日本語教室」を始め、「外国語講座」「あびこ国際交流まつり」「国際交流スピーチ大会」の開催など、様々な活動を通して市民の国際化と外国人との交流を進めてきました。

AIRAの設立以来、AIRAの活動を支えてこられた次の4名の方に感謝状を贈りました。

氏名	理由
青木 章（我孫子市副市長）	設立準備から多年にわたりAIRAの発展のために尽力されました。
井手口 越（会計理事、元AIRA会長）	設立準備委員会から多年にわたりAIRAの発展のために尽力されました。
坂詰 宮子（事務局）	設立以来多年にわたり誠実に勤続され、AIRAの発展に貢献されました。
高 康治（賛助会員）	AIRAの事業活動に対してご理解の上、多額の寄付を賜り、AIRAの運営に多大なる貢献を戴きました。

祝 我孫子市国際交流協会設立30周年記念式典



左2人目から、青木さん、井手口さん、坂詰さん、高さん

続いて、会員の望月さんのフルートとお仲間のバイオリン、ピアノの三重奏の演奏が行われ、式典に花を添えました。



三重奏（フルート・バイオリン・ピアノ）

あびこ国際交流まつり

「あびこ国際交流まつり」は、市民の国際化推進と外国出身者との交流促進を図るため、AIRAでは主要事業に位置付けています。AIRA設立に先立つ1992年2月に「あびこ国際交流まつり'92」が開催されていますが、設立後の翌年1993年3月の第1回「あびこ国際交流まつり'93」開催以降、AIRA主催で毎年開催されています。

※注：2020年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止しました。

また、第1回（1993年）～第10回（2001年）は「10周年記念誌」、第11回（2002年）～第20回（2011年）は「20周年記念誌」にそれぞれ詳細が記載されていますので、参照してください。

あびこ国際交流まつりは、あびこ市民プラザのギャラリー、多目的ホール、ロビー及び和室を会場に行われます。入り口では生け花で来場者を迎えます。ギャラリーでは、外国語講座、子ども広場、日本語教室主催のAIRAコーナー、AIRAの活動の展示などがブースに分かれて展示され、各国民芸品等の物品販売なども行われます。

ロビーでは、お茶席のもてなしが、和室では外国人対象の着物の着付け体験がそれぞれ行われます。多目的ホールでは、日本語教室や外国語講座生の発表の他、市内外から来られた方による歌、演奏、舞踊などが演じられます。毎回、600～700名の市民の来場があり好評を博しています。



紙芝居 (コニーさん) 2014

AIRAブースで販売する日本語学習者 2017

by 日本語教室



並んで着付け中 2014



アホドリ饅頭売り場



元気なカッパダンスキッズ



キッズコーナー



フォルクローレ演奏（ガーデンコートにて 筑波大生）2018



フランスブース
2019

日本語火曜クラスの
寸劇 2019



お茶席 2019



プロジェクター投影
とオンライン配信
2021

映像による発表
2021



21回（2012年）	バンブーダンス&キャンドルダンス、フルート・オカリナ・ケーナ・ピアノ演奏、中国民族舞踊、白山中学校合唱部の合唱
22回（2013年）	バンブーダンス&キャンドルダンス、子どもフラダンス、サクソ演奏とジャズ・シャンソン、ミャンマー豎琴演奏と民族舞踊
23回（2014年）	フィリピン民族舞踊、アカペラ、フルート・ピアノ演奏と歌、二胡演奏、中南米音楽演奏、紙芝居
24回（2015年）	ミュージカルソング、ルーマニア民族舞踊、コカリナ演奏、子どもヒップホップダンス、ベリーダンス、紙芝居
25回（2016年）	フィリピンダンス、フルート演奏、子どもヒップホップダンス、ハンドベル演奏、台湾民族舞踊、似顔絵
26回（2017年）	ベリーダンス、子どもヒップホップダンス、ダンス&ミュージック、フルート・オカリナ演奏、紙芝居
27回（2018年）	子どもヒップホップダンス、シャンソンの歌とピアノ演奏、フォルクローレ音楽の演奏、我孫子第四小学校合唱部の合唱、抽選会
28回（2019年）	イタリアカンツオーネとピアノ演奏、アンサンブル演奏、子どもヒップホップダンス、我孫子ふるさと会の獅子舞・お囃子、抽選会
29回（2021年）	録画放映とオンラインによる同時配信及びYouTubeで配信（フランスパン、ベトナム風春巻き、タジキスタン料理、浙江省の味＜卤味＞、肉まん及び面塑人形の作り方、台湾茶及び日本語教室の紹介、日中書道の“カタチ”、ドイツ語講座生及び韓国語講座生の発表）

国際交流スピーチ大会

国際交流スピーチ大会は、国際的な視野を持つ青少年の育成並びに日本語及び英語の語学力向上と国際交流を目的に、1999年に第1回「国際交流弁論大会」として始まり、第7回（2005年）から現在の名称に変更して開催しています。第20回大会（2018年）から小学生による暗唱した英語の発表「レシテーション Recitation」を審査対象外ですが行っています。

2020年及び2021年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

スピーチは原則として、日本語を母語とする方は英語で、外国語を母語とする方は日本語で行います。スピーチの内容は、広く国際交流に関する経験、思いや印象、考え方などを重視し、語学力や表現力のみを競うものではありません。

審査中の時間には、海外や国内での国際交流に関するミニ講演を開催します。

審査は、AIRA 会長、市長、教育長、中央学院大学（外国人講師）、川村学園女子大学（外国人講師）、ALT（Assistant Language Teacher）などの協力を得て行い、その結果、国際交流協会長賞、市長賞、教育長賞などの表彰式を行います。

大会終了後はティーパーティーを催し、参加者、審査員及び来場者それぞれが意見交換をして、くつろいだ楽しい時を過ごします。

2014年ミニ講演
「アフリカ生活から見たもの」
- ザンビアの村の生活：河瀬みち乃さん

回	開催日	参加者	
第1回	1999.9.26	5名	
第2回	2000.9.30	9名	
第3回	2001.9.30	13名	
第4回	2002.9.29	12名	
第5回	2003.9.28	9名	
第6回	2004.9.26	11名	
第7回	2005.9.25	21名	
第8回	2006.9.24	11名	
第9回	2007.9.30	15名	
第10回	2008.9.28	27名	
第11回	2009.9.27	19名	
第12回	2010.9.26	16名	
第13回	2011.9.25	18名	
第14回	2012.9.23	13名	
第15回	2013.9.29	13名	
第16回	2014.9.28	13名	
第17回	2015.9.27	11名	
第18回	2016.9.25	8名	
第19回	2017.9.23	15名	レシテーション
第20回	2018.9.30	9名	4名
第21回	2019.9.29	24名	5名



東葛地区国際交流協会連絡協議会

東葛地区国際交流協会連絡協議会は、1999年3月25日に我孫子市・柏市・鎌ヶ谷市・流山市・野田市・松戸市・沼南町の6市1町で活動を開始しました。その後、松戸市の脱退と再加入（2020年）、柏市と沼南町の合併（2005年）、鎌ヶ谷市の脱退（2017年）があり、現在は5市で構成されています。

AIRAは、近隣の国際交流協会との交流を通し相互理解を深めながら、国際交流に関する共通課題や発生する諸問題への対応などについて意見交換を図り、AIRAの事業運営に活用しています。

協議会は、2007年までは「県立手賀の丘少年自然の家」が幹事となり開催されていましたが、2008年から会場の管理運営が委託されたため、構成メンバーが幹事を持ち回りで開催しています。

会議は原則として年2回（5月・12月）開催され、会長・副会長・部会長などの役員会メンバーが出席します。また、議題の内容によっては、担当者が出席する会議も別に開催されます。コロナ禍の2021年にはオンラインによる会議も行いました。

構成団体は、組織形態（公益財団法人＜松戸＞、特定非営利活動法人＜柏・流山＞）や人口規模・構成などの相違がありますが、国際交流を適切かつ円滑に進めるにはどうすればいいかなどの課題は共通しています。お互いに情報交換を行い、補い合いながら協力関係を築いて行っています。

意見交換を行った項目（例示）

2013年	法人化に伴う課題、外国人の加入及び参加活動
2014年	翻訳・通訳ボランティアの発掘
2015年	ホームスティの受入れ先、外国語講座の講師の補充・選定
2016年	行政等の助成金・補助金の活用
2017年	外国語講座生・会員の若返りと増加対策、ボランティア増強策
2019年	部会活動メンバーや災害時の活動メンバー強化策、外国人相談窓口の一元化
2020年	コロナ禍の国際交流活動
2021年	コロナ禍でのスタッフのモチベーション維持・事業イベント対応・外国人支援



2014年9月柏まつり視察



会議（2020年12月11日）

外国語会話講座

2021年度 外国語講座一覧

外国語会話講座は1993年度に英会話2講座、中国語会話1講座で、それぞれ年間24回実施の内容で始まりました。その後受講者が年々増加するとともに、他外国語会話講座開設要請が相次ぎ、1995年度にフランス語、1999年度に韓国語、2001年度にスペイン語、2020年からドイツ語の各講座が加わり、現在6か国語で開講しています。

講座は、前年度からの引き続き受講される方が増えたため、入門から初級、中級、上級とレベルアップをしながら学習ができる体制へ拡充しました。その結果2011年度には計24講座(定員380名、年間講座数743回)となりました。

外国語講座の目的の一つに、仕事や観光等で海外諸国を訪れたり、或いは来日した外国人と接する場合に、流暢ではなくても外国人アレルギーを起こすことなく、役立つ外国語会話を学ぶことがあります。その為、講師は原則としてネイティブスピーカーに依頼しています。

近年受講者数は、受講者の高齢化、本人や配偶者の病気治療等で減少しています。2015年の受講者数308名をピークに年々減少し、2017年には243名、2021年にはコロナ禍の事情もあり179名になっています。

また、外国語会話講座では、受講生に教室会場の予約確保やクラス連絡などを各クラスの幹事をお願いしています。その為、事務局等と各クラス幹事との意見交換を図り、クラスの円滑な運営を図るために「外国語会話講座幹事懇談会」を毎年開催しています。

AIRA外国語会話講座は、ボランティア組織での運営に伴う課題もありますが、我孫子市民の国際化推進に欠かせないものになっています。

No.	講座名 (講師名(出身国))	開催曜日及び時間	会場	回数 定員
1	英会話 入門 Aクラス 山口 千鶴 (日本)	毎週 月曜日 10:20~11:50(90分)	市民プラザ 他	34回
				15名
2	英会話 入門 Bクラス グレッグ・リーチ (カナダ)	今年度中止		
3	英会話 初級(月)クラス グレッグ・リーチ (カナダ)	毎週 月曜日 13:40~15:10(90分)	市民プラザ 他	34回
				15名
4	英会話 初級(火)クラス グレッグ・リーチ (カナダ)	毎週 火曜日 13:40~15:10(90分)	市民プラザ 他	34回
				15名
5	英会話 初級(日)クラス リン・グリーン (イギリス)	今年度中止		
6	英会話 初中級(土)クラス マイケル・テラー (アメリカ)	毎週 土曜日 9:45~11:15(90分)	アビスタ 他	18回
				15名
7	英会話 中級(金)クラス マイケル・テラー (アメリカ)	毎週 金曜日 10:05~11:35(90分)	新木行政サービスセンター	20回
				15名
8	英会話 上級クラス ダニエル・リー (イギリス)	日曜日(月2回) 13:40~15:40(120分)	市民プラザ 他	22回
				15名
9	中国語会話 入門・孫クラス 孫 勉 (中国)	毎週 日曜日 19:40~20:50(70分)	市民プラザ 他	16回
				10名
10	中国語会話 初級・徐クラス 徐 麗 (中国)	毎週 日曜日 9:10~10:40(90分)	市民プラザ 他	25回
				10名
11	中国語会話 初中級・孫クラス 孫 勉 (中国)	毎週 月曜日 19:00~20:30(90分)	市民プラザ 他	25回
				10名
12	中国語会話 中級・孫クラス 孫 勉 (中国)	毎週 日曜日 18:00~19:30(90分)	市民プラザ 他	25回
				10名
13	中国語会話 上級・張クラス 張 華 (中国)	毎週 日曜日 10:50~12:50(120分)	市民プラザ 他	34回
				15名
14	フランス語会話 初級クラス ミシェル・ヒロカワ (フランス)	毎週 金曜日 13:40~15:10(90分)	市民プラザ 他	34回
				15名
15	フランス語会話 初中級クラス ミシェル・ヒロカワ (フランス)	毎週 金曜日 10:00~12:00(120分)	市民プラザ 他	26回
				15名
16	フランス語会話 中級クラス ミシェル・ヒロカワ (フランス)	毎週 水曜日 10:00~12:00(120分)	けやきプラザ 他	34回
				15名
17	フランス語会話 上級クラス ミシェル・ヒロカワ (フランス)	原則土曜日(月2回) 10:00~12:00(120分)	けやきプラザ 他	18回
				15名
18	韓国語会話 入門クラス 金 芝 男 (韓国)	毎週 月曜日 11:10~12:40(90分)	市民プラザ 他	16回
				10名
19	韓国語会話 初級Ⅰクラス 金 芝 男 (韓国)	毎週 月曜日 9:30~11:00(90分)	市民プラザ 他	32回
				10名
20	韓国語会話 初級Ⅱクラス 金 芝 男 (韓国)	毎週 土曜日 15:10~16:40(90分)	市民プラザ 他	32回
				10名
21	韓国語会話 中級クラス 金 芝 男 (韓国)	今年度中止		
22	スペイン語会話 初中級クラス 村井 エレーナ (コロンビア)	今年度中止		
23	ドイツ語講座 初中級クラス ビリック エヴァ (ハンガリー)	土曜日(月3回) 10:00~11:30(90分)	けやきプラザ 他	22回
				15名
24	スペイン語サロン 加藤 バトリシア (チリ)	月1回(土曜日) 14:30~16:30(120分)	市民プラザ 他	若干



幹事懇談会

= 英会話（入門・初級） =



<英会話（入門・A）> 山口千鶴 講師

講師のやさしく分かりやすい教え方で、和やかな雰囲気楽しく学んでいます。会話が多くドキドキしますが身につき、特に英語での会話のキャッチボールが楽しい。月曜日が待ち遠しい位です。

<英会話（初級・月）> グレッグ・リーチ 講師

入門修了者のクラスです。前半は学習した内容から各自に質問が出され、後半はテキストに沿って学習します。



<英会話（入門・B）> グレッグ・リーチ 講師



<英会話（初級・火）> グレッグ・リーチ 講師

授業は英語で進められ、講師からの質問やトリビアなクイズによる頭の体操など、楽しく学んでいます。マイプランの旅行、外国から来た幼稚園児の子どもとの意思疎通等を目的に学ぶ人もいます。

<英会話（初級・日）>
リンドン・グリーン 講師

授業は、自由テーマの speech と 全員の What did you do yesterday? からスタートする楽しいクラスです。



= 英会話（初中級・中級・上級） =

< 英会話（初中級）クラス >

マイケル・テラー 講師

入門クラス修了者又は NHK 基礎講座 2 - 3 レベルの方の為のクラスです。テキストを中心に文法・会話を勉強、丁寧に指導します。



・講師から一言・

「My favorite Japanese phrase is "dai-jo-bu". When I was not yet accustomed to manners at dinner party in Japan, I might make a some faux pass. Then, staffs and students called "dai-jo-bu" to me, and I was relieved.

When you will live abroad, I hope you will have same coutesy of "dai-jo-bu" from people there.」

Good luck and continue to study in earnest !

< 英会話（中級）クラス >

マイケル・テラー 講師

先生から生徒一人ひとりへの質問と応答、そしてメンバーの2～3分間のショートスピーチなど、和気藹々とした楽しいクラスです。

< 英会話（上級）クラス > ダニエル・リー 講師

自由な会話を楽しむクラスです。日頃感じていることや最近の出来事などを各自が自由に話したり、それについて意見交換をしたりして、「聴く力」、「話す力」が強化されます。



・講師から一言・

イギリス Somerset 州 Wells 市の出身で、来日 20 年になります。この間、英会話教室を開催するほか、日本における英語教育の研究をして著書「無限英語」を出版するなど、英語教育の専門家と言えます。2016 年 9 月から上級を担当しています。

＝ 中国語会話（入門・初級・初中級・中級）＝



< 中国語会話（初級）クラス >

徐 麗 講師

中国・大連出身の徐先生を中心に、受講生は非常に熱心です。ライングループを作りお互いに情報交換をしています。授業では、中国の日常生活や歴史等を学びながら、私たちの知らない中国に驚きながら楽しく中国語を学んでいます。

< 中国語会話（入門・中級）クラス >

孫 勉 講師

仕事や中国文化に興味がある人などが参加しています。授業では教科書の他、時々時事問題や新しい中国語を学んでいます。学んでいる標準語（北京語）の発音は難しいですが、言葉が通じた時などはとても嬉しく思います。



< 中国語会話（初中級）クラス >

孫 勉 講師

中国語を三年以上勉強した方のクラスです。文法を更に勉強し、成語、中国文化、現代中国の新しい言葉表現をも勉強することによって、コミュニケーション力、翻訳力を養成していきます。

= 中国語会話（上級）・ドイツ語（初中級） =

<中国語会話（上級）クラス> 張 華 講師

教材は月刊誌の他に、先生が準備してくれたプリントで学んでいます。文法・成語・発音・語順だけでなく、中国の文化、歴史、最近の話題など楽しく学んでいます。受講生は、高齢の人が多くですが、未知のことにチャレンジしています。



<ドイツ語講座（初中級）> ビリック エヴァ 講師

授業は、ドイツ語圏各地を題材とした教科書、ドイツの放送局等の制作した視聴覚教材、映画を含む DVD などを使用し、ドイツ語が身に付くことを目指しています。学習を通じて、ドイツ語圏の習慣・文化・歴史についての理解を深め、異文化の理解・交流を目指しています。



＝ フランス語会話（初級・初中級・中級・上級）＝



< フランス語会話（初級）クラス >

ミシェル・ヒロカワ 講師

学ぶ動機は色々ですが、皆さん明るく、先生は可愛らしく楽しく、とても雰囲気の良いクラスです。「新たな言葉を話せるって楽しい！」でもヒマラヤ山脈を越えるがごとく難しい・・・なので一歩ずつ。

< フランス語会話（初中級）クラス >

ミシェル・ヒロカワ 講師

先生は、複雑な文法は敢えて日本語で教えて下さるので、授業は分かりやすく、又、堅苦しくなく、何時も生徒の笑い声に満ちていて、クラスの雰囲気は、楽しく、明るいです。

< フランス語会話（中級）クラス >

ミシェル・ヒロカワ 講師

レベルは A2 から B1 位で、フランス語検定 3 級から 2 級レベルの方もいます。会話、読解、文法を学んでいます。

< フランス語会話（上級）クラス >

ミシェル・ヒロカワ 講師

授業の前半はフリートーク。身の回りの出来事、最近読んだ本等を題材に自由に話し会話を広げていきます。後半は最近の話題・関心の高いテーマを扱ったプリントを読み、新しい表現や単語等を学びます。年齢・職業・趣味も様々なメンバーで夫々の得意分野を活かして授業を盛り上げ、和気あいあいとした雰囲気です。



＝ 韓国語会話 (入門・初級・中級)・スペイン語会話 (初中級) ＝

< 韓国語会話 (入門) クラス >

金 芝 男 講 師

ハングル文字の書き方、発音、挨拶、自己紹介、数字などを勉強します。ハングルが少しでもわかると韓流ドラマ、音楽、韓国旅行がとても楽しくなります。



< 韓国語会話 (初級 I) クラス >

金 芝 男 講 師

金先生のもと、時に厳しく、普段は楽しく学んでいます。韓国の生の情報も飛び交い、有意義な時間を過ごせますよ！



< 韓国語会話 (初級 II) クラス >

金 芝 男 講 師

受講の目的・動機は韓国映画、K-pop、韓国料理、旅行、ショッピング等様々ですが、主婦、会社員、後期高齢者等が楽しく学んでいます。コロナ禍で韓国料理店での会話実践、韓国旅行等は出来ませんが、一歩ずつ韓国語を学びながら国際交流を続けたいと考えています。



< 韓国語会話 (中級) クラス >

金 芝 男 講 師

諸々な場面を設定して会話する、楽しいクラスです。勉強しながら、韓国の文化、日常生活も勉強します。

< スペイン語会話 (初中級) クラス >

村 井 エレーナ 講 師

簡単な挨拶、基礎的な会話をするなど実用的な表現を学んでいます。

・ 講師から一言 ・

日本に来て28年になります。四季ごとの“色”を見るのが好きで、毎日近くのお寺や手賀沼を散歩しています。私と一緒に楽しくスペイン語を勉強しましょう。

ジャパン・バード・フェスティバル (JBF)

鳥をテーマにした日本最大のイベント「ジャパン・バード・フェスティバル (JBF)」は、2001年に第1回が開催され、以来毎年秋に我孫子市の手賀沼周辺で開催されています。(2020・21年はコロナ禍の為オンラインで開催)

AIRAは2005年の第5回に初めて参加し、紀宮内親王ご成婚のお祝いとしてAIRAオリジナルデザインの「カワセミの焼印入り紅白饅頭」を販売し、収益金を山階鳥類研究所に寄付しました。以降2009年までオオバンやアホウドリの紅白饅頭の販売で参加しました。更に、2010年の第10回では「JBFにぎわい隊」として参加しています。



一方、このイベントをより国際的にするために、2015年から海外団体(鳥類に関連する)の出展も始まり、主催者側からAIRAに通訳などの協力要請がありました。2015年以降参加国(団体)及び派遣した通訳数は表のとおりです。

通訳者には日本人だけでなく、各国の我孫子在住者や留学生などにもお願いしています。また、出展ブースだけでなく歓迎パーティーでの通訳や事前の招待状や各種文書作成にもAIRAとして協力しています。2022年以降コロナが収束し再びJBFが開催される場合、AIRAは同様の協力を行う予定です。

年	参加国(団体)	派遣通訳数
2015年	香港、インド、フィリピン	8名
2016年	香港、ブータン、フィリピン	9名
2017年	タイ、ネパール、マレーシア、ハワイ、フィリピン	12名
2018年	タイ、インド、ハワイ、フィリピンx2	11名
2019年	タイ、モンゴル、台湾、フィリピン、ミャンマー、グアテマラ	14名



2016年 ブータンがオオバン賞を受賞



2018年 タイブースにて



2017年 海外出展者と



2019年 歓迎会(フィリピン代表のあいさつ)

通訳学習会

AIRA では会員の中から通訳を募集して登録しています。2021 年現在、英語 15 人、中国語 6 人、韓国語 3 人、スペイン語 3 人、フランス語 3 人、インドネシア語 2 人、タイ語 1 人、ドイツ語 1 人、ベトナム語 1 人、タガログ語 1 人、ロシア語 1 人（計、11か国語 37 人）の外国語通訳者が登録されています。

通訳は、市内でのイベント、市役所、学校、他の国際交流協会の他、病院などの会社からの依頼に対して、市の委託事業として対応しています。

2008 年 3 月から通訳登録者を対象に通訳・会話能力のレベルアップと情報交換を目的に、通訳学習会（英語）を年 2 回の開催で始めました。現在は年 4 回開催しています。

アメリカ人講師の指導のもとに、日常会話、市内案内、日本の紹介、イベント等での挨拶など日本語・英語双方向の通訳の練習を行っています。



Rhys Moses 講師



2014 年 授業風景



2021 年 通訳トレーニング

<主な通訳活動>

2012 年	タイ・ラグビーチーム来日（子ども国際交流協会）、我孫子国際野外美術展	タイ語、英語
2013 年	子ども国際交流協会、布佐歴史サロン、個人（出産関係）、我孫子国際野外美術展	タイ語、中国語、英語
2014 年	我孫子国際野外美術展、国際鳥類学会市内ツアー、バングラディッシュ大学学長訪問、ジャパン・バード・フェスティバル（JBF）	英語他
2015 年	子ども国際交流協会、在日リトアニア大使訪問、JBF	タイ語、英語、中国語
2016 年	子ども国際交流協会、JBF、我孫子市教育研究所、病院	タイ語、英語、中国語、スペイン語
2017 年	北アリゾナ大研修団、我孫子国際野外美術展、子ども国際交流協会、病院、JBF	タイ語、英語、中国語、ベトナム語
2018 年	杉村楚人冠記念館、旧村川別荘、行政法律相談、市健康づくり支援課、JBF、北アリゾナ大研修団	英語、中国語、インドネシア語
2019 年	市の外国人相談、北アリゾナ大研修団、我孫子特別支援学校、我孫子市教育研究所、JCOM、原水爆禁止国民平和実行委員会、川村学園女子大学付属幼稚園、日中小学生交流、小学校での面談	英語、中国語、韓国語、スペイン語、タガログ語
2020 年	なし（新型コロナウイルス感染拡大のため）	
2021 年	スロベニア共和国駐日大使・オリンピック選手、日台高校生オンライン交流会	英語

翻訳学習会

「広報あびこ」記載記事及びAIRA ホームページの英訳並びに市や他団体などからの翻訳依頼に対して、AIRA では会員の外国語登録者が翻訳サービスを行っています。登録している外国語は、英語の他、中国語、韓国語、タイ語、スペイン語、フランス語などです。

また、翻訳技術向上を図る学習会（英語）を2名の外国人講師の指導を受けて開催しています。

学習会は原則として年間6回行っています。事前に日本経済新聞のコラムから課題を選び各自で試訳を作成し提出します。当日参加者（学習者）がそれぞれ発表し、講師の指導を受けると言う形で進めています。

物事の考え方、言葉（単語）の使い方・言い回し方、最近使われている言葉などを通して、文化習慣の違いを踏まえて的確な翻訳に近づけるよう学んでいます。



2021年アドバイザー「グレッグ・リーチ氏」



2014年 学習会



2021年 アクリル板使用し、開放した教室での学習会

翻訳依頼のあった主なものは、次の通りです。

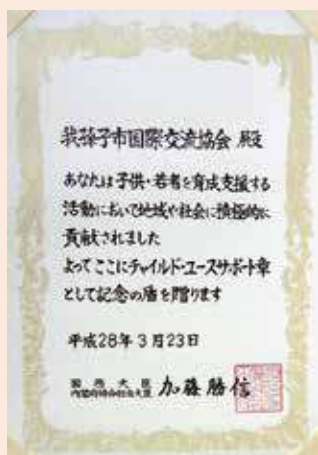
1. 子育て世帯臨時特例給付金案内文の4か国語の翻訳（英・中・韓・スペイン）＜2014年＞
2. 鳥の博物館の常設展示のタイトル・標本展示解説プレートの英訳＜2014年＞
3. 原爆に関する資料の説明文の3か国語翻訳（英・中・韓）＜2018年＞
4. 特別定額給付金の申請書の記載例等の翻訳6か国語＜2020年＞
5. 自治会への加入案内文の4か国語翻訳（英・中・韓・ベトナム）＜2018年＞
6. 野外美術展プログラム市長挨拶文の英訳
7. リトアニア共和国の2市長宛の手紙の英訳＜2016年＞
8. 戸籍謄本・出生届の英訳＜2015年＞
9. 住民異動届のベトナム語訳＜2017年＞
10. 婚姻登録等の日本語訳＜2017年＞
11. 市内文化財施設等の案内板の翻訳＜2020年＞

学校派遣（日本語指導）

2007年に2名の外国人中学生の日本語学習の希望があり、AIRAの日本語講師が中学校に出向き日本語指導を行ないました。市内には、日本語指導を必要とする子どもたちが他にもいるのではないかと考え、この中学校での指導を児童生徒のための日本語指導のパイロット事業と位置づけました。正式な学校派遣日本語指導の事業につなげるために、教育委員会と協議を重ね、2008年度から教育委員会作成の「我孫子市日本語指導派遣要項」に基づく「日本語指導のための学校派遣事業」が始まりました。

指導は、AIRAの日本語ボランティア講師が学校に赴き、授業時間中に対象の子どもに「取り出し授業」や「放課後授業」をします。児童生徒の状況に合わせて学校と教育委員会（教育研究所）とAIRAの三者で指導の目標を共有し、より良い指導を目指しています。月例のスタッフミーティングで指導方法・資料などの情報交換や協議を通じて研鑽し合い、指導の充実に努めています。

平成27年度「チャイルド・ユースサポート章」（内閣府）を受章し、2016年3月23日に公表されました。この章は、子供・若者を育成支援する活動及び子育てと子育てを担う家族を支援する活動を広く社会に紹介することにより、同様の活動を行なっている方々やこれから行なおうとする方々の参考に供することを目的として設けられています。選考は関係府省、各都道府県から「子どもと家族・若者応援団表彰」に推薦のあった候補者から選考委員会の審査を踏まえ決定されます。AIRAの学校派遣日本語指導の事業について、我孫子市役所から候補者として推薦をしていただき、受章することが出来ました。



チャイルド・ユースサポート章受章



AIRA イブニングクラス（日本語）

2016年に全体事業として開始しました。昼間に日本語の学習が出来ない外国人を対象にしたクラスです。2015年に「昼間は日本語の学習が出来ない。夜間に日本語を学びたい。」との声がAIRAに届きました。1年間の試行の後、全体事業として、金曜日の夜に「イブニングクラス」として開講しました。様々な環境にいる学習者に、多様な目的に合わせた指導をしています。クラスでは、日本語の学習のほか、日本文化や習慣などの体験をとおり、生きた日本語学習も取り入れています。日本語検定に向けての学習、仕事のための日本語学習、など目的はいろいろですが、仕事が終わってから、学校が終わってから、家族の食事を作ってから、子どもと一緒にと、日本語を学びにやってきました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年4月から中止しています。

2021年3月に学校派遣日本語指導をした児童生徒から春休み中の日本語学習の希望を受け、中に「春休み特別指導」を行ないました。また夏休みにはイブニングクラスの拡大枠として、10日間の「夏休み日本語教室」を実施しました。学校派遣日本語指導をした児童や日本語を学びたい4歳児、男性の参加がありました。

コロナ禍が収束の折には、イブニングクラスが再開し、それぞれの目標に向かって学ぶ学習者の姿に会えることを待ち望んでいます。



「留学生が先生！」

「留学生が先生！」は、日本の大学や大学院で学んでいる外国人留学生を小学校・中学校に派遣し異文化理解教育の一翼を担ってもらうという（財）日本教育映像協会の教育プログラムです。1994年12月に、会員の呼びかけで、AIRAの事業として実施しました。その後、学校からの希望が増えたこともあり、教育委員会等に協力を呼びかけ、1999年に我孫子市教育委員会の事業として行なうことになりました。2002年からは（財）日本教育映像協会が費用の全額負担で「留学生が先生！」が市内の小中学校で国際理解教育として取り入れられました。

AIRAでは、市内の駅から学校までの留学生の送迎（自家用車）のサポートをし、私たちが授業を参観することが出来ました。学校では、来訪する留学生の国の言葉で玄関での出迎えやクラスでの挨拶など、事前に準備した様子が伝わりました。留学生が“流ちょうな日本語”で出身国のことなどを説明したり、自分の得意な事を嬉しそうに披露する姿に、子どもたちの緊張も溶け、楽しい雰囲気になりました。また、時には、民族衣装を子どもたちが着る体験もありました。

2018年に事業運営主体の（公財）国際理解支援協会（2010年に（財）日本教育映像協会を改称した）の事情により、「留学生が先生！」プログラムが中断されました。これに伴い、我孫子市でも2017年度末で終了になりました。この間、参加した留学生の出身国は32カ国で、留学先の大学は15大学に及びます。

学校に、様々な国の留学生を迎え、児童生徒と直に交流が出来る機会として素晴らしいプログラムでした。送迎のサポート時の車中で、日本のこと、学校教育のことなどいろいろと質問も受け、話し合えたことは、思い出に残る貴重な体験でした。



2016年 フルーツを紹介するタイスさん（ブラジル）並木小学校



2016年 中国の学校を紹介する関さん（中国）並木小学校



2017年 サエリー・シヨニカンさん（タイ）湖北小学校



2017年 リトルインディアでのカレーを紹介「右手で食べます」
ン・シェリルさん（シンガポール）布佐南小学校

イヤーエンドパーティー

交流部会では、毎年会員同士の親睦を深めることはもちろん、会員以外の市民の方々や我孫子市にお住いの外国人の方々など、より多くの方々にAIRAの活動やメンバーのことを知っていただく機会として、12月にイヤーエンドパーティーを開催しています。

イヤーエンドパーティーは、あびこ市民プラザの多目的ホールで開催することが多く、豪華な食事は準備出来ませんが、参加者がそれぞれに珍しい各国のお酒やお菓子などを持ち寄るポットラックパーティーで行うこともあります。その時は、その国のお酒の話や食文化の話などで盛り上がり、プチ海外旅行気分が味わえ楽しめます。

パーティーでは、会員の方や市民の方にピアノ、クラリネットや時には尺八などの演奏をお願いして鑑賞します。更に、その年に話題となったことなどがあれば、それに詳しい方に依頼してミニ講演会を開催することもあります。また、ある年には全員で歌を歌ったり、健康体操を実践するなど参加型の催しで楽しむこともあります。

日本人や外国の方、或いは「ハーフ」「ダブル」「ミックスルーツ」の方など老若男女様々な方が参加するパーティーですので、誰もが楽しめるように毎年内容を工夫して開催しています。

2020年からのコロナ禍において開催を見合わせていますが、誰もが気軽に参加できるように今後も引き続き開催する予定です。



2016年 参加者



2017年 同級生で合奏する
田淵さん・岡本さん・大山さん



2017年 会場



2017年「仮装賞」



2019年 会場内



2019年 パプリカダンスを踊る



2019年 姉妹でクリスマスの歌を歌う

国際交流バスツアー

我孫子市に住む外国人の方の中には、来日間もない方で日本語を学んでいる方もいれば、家族を持ち仕事や子育てに奮闘している方々もいます。そのような方々が日常ちょっとした小旅行をすることもなかなか難しいのではないかと思います。

そこで、毎日忙しく生活している外国人の方たちにも日本の美しさや歴史の深さなどについて実際に肌で触れていただくことができるように、AIRAの「外国人のための文化講座」と交流部会が合同で「国際交流バスツアー」を企画して行っています。このツアーには、我孫子市民の方々の参加も募集して、市民との交流の機会としています。この交流を通して相互に理解を深めることで、日本人も外国人も我孫子市での心地よい生活を送ることができると思います。

2014年：石岡フラワーパーク・納豆工場

2015年：笠間稻荷神社・春風萬里荘

2016年：房総のむら・成田山新勝寺

2017年：グリコピア CHIBA・関宿城博物館

2018年：国営ひたち海浜公園・那珂湊おさかな市場

2019年：銚子ヒゲタ醤油・犬吠埼灯台

2020年度と2021年度はコロナ禍で実施はできませんでしたが、毎年、外国人にとっても日本人にとっても新しい発見のあるツアーとなっています。



2014年 石岡フラワーパーク



2015年 春風萬里荘の庭



2016年 房総のむら



2017年 関宿城博物館



2018年 那珂湊おさかな市場



2016年 ランチ



2018年 ひたち海浜公園



2019年 ヒゲタ醤油工場

国際交流パーティー

AIRA では、ホームステイを受け入れた際などに様々なかたちで国際交流パーティーを開催しています。

アメリカの北アリゾナ大学からの研修団の場合は、午前中は地元大学生や高校生との交流会を開催します。交流会では、事前に準備したゲームやクイズなどを北アリゾナ大学学生と日本人学生、高校生の混合チームを幾つかつくり、協力して取り組んでいました。その他、特技のある学生たちは、ギター演奏をしたり、両国ではやっている歌を合唱したりなど、同年代ということもあり、すぐに打ち解けて毎年盛り上がりを見せていました。

午後にはホストファミリーとの親睦を主としたウエルカムパーティーを行っています。ウエルカムパーティーには AIRA の会員や午前中交流のあった学生たちも参加しているので、AIRA メンバーと日本人学生との交流も自然と行われるようになっています。

また、ホームステイ終了後に体験報告会として茶話会を開催して北アリゾナの学生やホストファミリーから各々の意見を聞く場を設けて、AIRA として成果の確認も行っています。

今後も海外からの研修団の来日等の機会を利用して、国際交流パーティーを開催し、特に将来を担う大学生や高校生、或いは中学生や小学生のために交流の機会をつくっていきたいと思います。



2015年

2016年 バンプダンスに挑戦する学生



2015年 腕相撲

2018年 ホームステイ報告会



2019年 三本締めを体験する



ホームステイの受け入れ

AIRA では我孫子市でホームステイを希望する海外からの学生等の受け入れを行っています。ほぼ毎年受け入れるケースやその年度だけ受け入れるケースがあります。近年では次のような受け入れを行っています。

1. 我孫子市にある中央学院大学には毎年、海外の提携大学から1年間の長期交換留学生在が数名来日し学んでいます。その交換留学生の異文化体験の一環として、夏休み中の一定期間 AIRA でホームステイの受け入れを行っています。

予め AIRA にホストファミリーの登録をされている会員を中心に交換留学生の体験希望内容等も聞きながら、ホストファミリーに受け入れをお願いしています。

交換留学生は日本の家庭で生活し、日本の生活様式などを体験したり、一緒に料理を作ってステイ先の家庭の料理を学んだり、ホストファミリーによっては、本格的な華道や茶道・習字などの様々な体験をさせています。交換留学生にとっては、日本の文化を知る素晴らしい体験となっています。

2. アメリカの北アリゾナ大学では、日本語を学ぶ学生や日本文化に興味のある学生を引率し、約1か月間広島や大阪、京都など日本の各地を回る研修を行っています。この研修団は以前に AIRA の英語講座を担当されていた先生が引率して来られ、来日時には我孫子市でのホームステイを希望しています。

2015年から2019年の5年間受け入れを行ってきました。研修団は毎年10～20名程度で来日しますので、それに見合った数のホストファミリーをお願いしています。

学生たちはそれぞれの家庭で様々な違った体験をして、学生同士が自分の体験を語り合い情報を交換することで同時にいくつもの家庭を疑似体験したような効果があるようです。

3. その他、県や市、或いは海外の学校からの依頼を受けてホームステイを受け入れています。幾つかの事例としては、市内の高校との交流のために来日した台湾からの高校生30数名について、千葉県や我孫子市からの要請を受け2人1組としてホームステイの受け入れをしました。会員だけではホストファミリーが足りなかったため、我孫子高校の保護者や市の職員など、多方面の協力を得ながら受け入れを行いました。

2020年度にはニュージーランドの高校の日本研修団のホームステイ受け入れ依頼があり、4月の受け入れに向けて地元の中央学院高校との交流会やホームステイの準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出のため中止となりました。

2015年 NAU 学生とダンスを踊る



2016年「ちらし」を作る台湾の高校生



2019年 お祭り体験をする香港の留学生



2019年 握りずし体験をする韓国の留学生



2016年 ホストファミリーと台湾の学生（我孫子高校体育館）



2016年 ホームステイ説明会

小学校の英語教育及び異文化交流

2012年に、並木小学校から子どもたちの英語教育のために英語を話す外国人の派遣依頼がありました。並木小学校は、文部科学省から英語教育推進校の特例校の指定を受けていました。それを受け日本語教室に協力をお願いし、受講生で英語を話す方々10数名に集まっていただき、International Exchange Activities with NAMIKI KIDsをスタートしました。

学校では、5、6年生の子ども達が小グループに分かれ、外国の方々と英語で自己紹介や身近な話題を話し合います。事前に準備した質問でやり取りをし、様々な話題に、時には困りながらも楽しく話し合いながら異文化に触れていました。NECの我孫子事業所からはラグビー選手やコーチの参加もありました。参加した方々が子ども達のお礼の歌のプレゼントに感動するシーンもありました。校内巡りをして日本の学校の日常の姿を目にして、楽しみながらも自国との違いや日本の教育システムを理解する機会にもなった様です。

2018年には湖北小学校からも依頼があり支援を行いました。

しかしながら、英語を母語とする外国の方に集まってもらうことは、仕事についている方もあり容易なことではありません。そこで、毎年AIRAに来訪する「北アリゾナ大学研修団」に、この事業への協力を依頼したところ、研修の一環として2017年から2019年まで参加を得ることが出来ました。

学生達は、子どもたちの教室で英語交流をしたり、給食を一緒に食べたり、日本の学校ならではの清掃では初めての雑巾がけ体験を楽しみ、終了後には子どもたちに感想のメッセージを残していました。いつでも、交流を終えて帰る時には、学校の窓から子どもたちが手を振り見送ってくれました。子どもたちにも協力してくれた外国の方々にも異文化交流の良い機会になった様です。



2014年 並木小学校



2015年 パキスタンを紹介する（並木小学校にて）



2018年 アラビア語で名前を書く



2018年 湖北小学校



2018年 掃除体験 NAU 学生



2018年 NAU 学生



2018年 フォークダンス（湖北小学校）

外国人のための文化講座

「外国人のための文化講座」はAIRAの全体事業のひとつとして2005年にスタートしました。

講座は主にAIRAの日本語教室で学ぶ外国の方々に日本の文化に触れていただき、またそれぞれの国のことを日本人に披露してもらう場として活動しています。

これまでクリスマス、お正月など季節に合わせた生け花、夏祭りに向けたゆかたの着方レッスン、自分の好きな言葉を漢字で書く書道教室、ひな祭りのお寿司作り、などいろいろなイベントを企画しました。

また、中国の水餃子、韓国のチャプチェ、ベトナムの生春巻きなどたくさんの国の方々にその国の料理を教えもらい、一緒におしゃべりを楽しみながらその味を楽しみました。

そして秋には、茨城の納豆工場見学、房総の村体験、成田、銚子のしょうゆ工場見学など近隣へのバスツアーにも出かけました。

これらの活動を通じて外国の方々と日本の参加者とがお互いに交流を深めることができました。

しかし、2020年・2021年の二年間は新型コロナウイルスの感染拡大により、思うように活動はできませんでした。

このコロナ禍で2020年は参加者を減らし、感染症対策をした上でクリスマスに合わせたドライフラワーのアレンジメント作りを楽しみました。そして2021年は、新たな取り組みとして、ベトナム料理の制作過程を録画してオンラインで配信しました。初めての試みなのでなかなかスムーズにはいきませんが完成しました。これからもできる形で、考えながら行っていきたいと思います。

コロナ禍が過ぎ対面による活動ができるようになったら、また皆様の要望を聞きつつ楽しいイベントを企画しようと考えています。



2014年 フィリピンの家庭料理紹介



2016年 浴衣を着る



2016年 一日遅れのひな祭りで「ちらし寿司」作り



2017年 習字体験



2020年 ホリゾンタルアレンジメントを作る



2021年 ベトナム料理「春巻の作り方」をオンライン配信

日本語の教え方講座

日本語の教え方講座は、1993年に「外国人のための日本語教室」におけるボランティア講師を養成するために、「日本語ボランティア養成講座」として始まりました。その後、「日本語の教え方講座」と名称を変更してほぼ毎年行われてきました。2010年度からは隔年となりましたが、継続して開講されています。現在までに約300名のみなさまが講座を修了し、地域の日本語ボランティアとして活躍したり、さらにステップアップして日本語教師を目指したりしています。現在は、20数名がAIRA日本語教室でボランティアとして活躍しています。

この講座では、日本語支援者としての役割、日本語支援のあり方、心構えなどの講義に始まり、外国語として日本語を教えること、その練習方法、教材の作成、などについての授業が展開されます。

2006年度から2014年度までは、聖徳大学教授北村弘明氏と山口槇子氏(2006年度～2010年度)、滝澤和江氏(2012年度)又は真鍋昌子氏(2014年度)に、2016年度及び2018年度は、インターカルト日本語学校の講師陣にそれぞれ指導をお願いして、中央学院大学のセミナー室を会場に講座を開催しました。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、新しい試みとしてオンラインで講座を開講しました。講師は明海大学准教授、西川寛之氏と加藤あさぎ氏です。はじめは対面授業ができないので、どのようになるだろうと心配しました。画面越しの講座にもかかわらず熱のこもった授業が展開され、その心配は無用でした。オンラインという新しい可能性を実感した講座でした。コロナ禍が過ぎ、平常の日常生活に戻ってからも選択肢が増えたことで、講座の可能性が広がるよい経験になりました。

これからも多くの皆さまに「日本語の教え方講座」を受講していただき、日本語ボランティアとして活躍されることを期待します。



2014年2月



2017年3月 修了式



2019年2月 修了証



2018年 授業風景



2021年2月 修了式 【ハイブリット授業開催】

外国人のための日本語教室

AIRA「外国人のための日本語教室」はAIRA設立の翌年、1993年に土曜教室を開講して始まり、1995年に火曜教室を開講、1998年に託児制度を開始、1999年に市の委託事業となり現在に至っています。

教室は、アビスタ（我孫子市生涯学習センター）とあびこ市民プラザの教室を毎年交互に交代して使用しています。年間34～35回開催し、10:00～11:30の90分間、レベル別に分けて行っています。3学期に分け、各学期末には教室ごとの合同学習会（お楽しみ会）を行い、クラスの皆との触れ合いを持ちます。

学習者の平均在籍数は、火曜教室43名、土曜教室47名で、平均出席者は両教室とも14.5名です。これまでに参加した学習者の出身国・地域は、60近くにのぼります。

日本語ボランティア講師の平均在籍者数は、火曜教室約17名、土曜教室約16名です。

また、ボランティア講師の技能向上を目的として、日本語レベルアップ講座を年2回程度開催して、研鑽に努めています。

活動として、「あびこ国際交流まつり」に舞台での出演やギャラリーでの出店を行っています。

その他、日本語教室では、託児運営（火曜教室のみ）を行っています。

2020年2月、日本語教室はコロナ禍で授業を年度途中で打ち切りました。先行きが見えない中、5月からの新年度を控えて、オンラインによる授業を実施しています。直接会えない歯がゆさ、不便さはありますが、毎学期末にはクラス全員集合の「オンラインお楽しみ会」で交流するなど、コロナ禍で絆を絶たれることなく、教室を続けています。

2021年のAIRAまつりは、感染症予防のために、動画中心の内容となりました。日本語教室も動画を作りました。オンラインでの授業風景や過去のイベントの写真、学習者のインタビューなどから構成される動画です。これまでの活動を振り返るよい機会となりました。

コロナ感染症が収まり、安心して皆で集まれる日を楽しみに、AIRA日本語教室が「人に優しいまち」の一翼を担えたら嬉しいと思います。

外国人のための日本語教室
2019

火曜日クラス：5月7日開講 10:30～12:00
土曜日クラス：5月11日開講 10:00～11:30
場 所：市民プラザ・アビスタ 他
♥火曜日クラスのみ託児サービスがあります。

受講料/ 無料

COURS DE JAPONAIS POUR ETRANGERS
Vous travaillez ou habitez à Abiko ou dans les environs d'Abiko; nous vous proposons de venir étudier le japonais avec nous.

INFORMACION DE CLASES DE JAPONES PARA EXTRANJEROS
Japanese language class para sa mga dayuhan
Para sa mga dayuhan na nakatira o nagtatrabaho sa Abiko City o sa mga malalapit na lugar nito, halina at sumali kayo sa aming magandang ng Saklang Hapon.

AULAS DE JAPONES PARA ESTRANGEIROS
Aos estrangeiros que residem e/ou trabalham na cidade de Abiko ou redondezas:voce(s) nao gostariam de estudar japonês conosco?

为外国人开设的日语教室介绍
居住或工作在我孫子市及附近的全体外国朋友们来和我们一起学习日语吧!

Interested in learning Japanese?
You are invited to attend Japanese language classes. Anyone living or working in or nearby Abiko City is welcome.

AIRA
あびここきょうりゆうきょうかい
我孫子市国際交流協会
TEL 04-7183-1231
FAX 04-7183-2005
E-mail info@e-aira.jp

2019年 募集ポスター 【8か国語】



2014年 料理（土曜クラス）



土曜クラス（2014年9月）

データ（学習者・講師・託児ボラ、2012～2020）

単位:人

年度	項目	火曜日	土曜日	託児運営	
2012	授業回数	35	34	登録託児ボランティア	13
	登録受講生	78	36	平均	4.9
	平均出席	21.3	15.2	登録託児	61
	登録ボランティア講師	23	18	平均	4.8
2013	授業回数	35	33	登録託児ボランティア	9
	登録受講生	62	40	平均	5.8
	平均出席	22.8	16.6	登録託児	14
	登録ボランティア講師	21	19	平均	4.2
2014	授業回数	35	35	登録託児ボランティア	8
	登録受講生	36	39	平均	5.8
	平均出席	13.7	12	登録託児	10
	登録ボランティア講師	19	16	平均	3.8
2015	授業回数	34	34	登録託児ボランティア	8
	登録受講生	52	44	平均	
	平均出席	17.5	12.6	登録託児	9
	登録ボランティア講師	23	18	平均	2.3
2016	授業回数	35	35	登録託児ボランティア	6
	登録受講生	63	59	平均	3.3
	平均出席	21.7	15.8	登録託児	4
	登録ボランティア講師	21	17	平均	2.3
2017	授業回数	34	34	登録託児ボランティア	11
	登録受講生	47	48	平均	3.8
	平均出席	13.1	16.5	登録託児	7
	登録ボランティア講師	19	17	平均	1.5
2018	授業回数	35	34	登録託児ボランティア	7
	登録受講生	39	62	平均	3.4
	平均出席	13	20	登録託児	2
	登録ボランティア講師	12	15	平均	1.1
2019	授業回数	31	31	登録託児ボランティア	9
	登録受講生	35	48	平均	3.5
	平均出席	14.4	14.1	登録託児	9
	登録ボランティア講師	16	15	平均	1.2
2020	授業回数	32	35	登録託児ボランティア	コロナ禍で中止
	登録受講生	31	27	平均	
	平均出席	7.8	9.7	登録託児	
	登録ボランティア講師	11	15	平均	



2015年7月七夕飾り付け



2014年 親子で学習



2016年12月「日本のお正月体験」



2017年7月 じゃんけん列車の勝敗



2021年3月 お楽しみ会（ネット開催）

『外国人のための日本語教室』の託児サービス

日本語教室では、発足当時は学習者は子どもの世話をしながら学んでいました。子どもたちは教室内で遊んでいましたが、中には外に出る子どももいました。

日本語教室で託児サービスを始めたのは、1998年（平成10年）からです。同年2月にAIRA名誉会長である当時の福嶋浩彦市長がAIRAの日本語教室を訪問し、子どもの就学時に備えて熱心に日本語を学ぶ外国出身の主婦等を見て、「子どもを預かる場所があるといい」との提案がありました。早速AIRAでは、1998年5月1日付けの広報「あびこ」に外国人のための日本語講座生の募集に合わせ、「ベビーシッターボランティア」の募集を行いました。初期には、川村学園女子大学生の応募もあり、授業の合間に子どもの世話をしていた時期もありました。

託児ボランティアに応募される方は、保育の資格を持った方の他、一般の方もいます。親が日本語を学ぶ間、託児室等で世話をしています。預かる対象は、主に幼稚園に入るまでの子ども（幼児）です。

託児は申込みにより登録し、無料で預かっています。日本語教室担当のボランティアの人たちは、託児サービスを実施するに当たり、託児係を設置して託児係が中心となって運営しています。子の安全を確保するためにルールを定め、預かるにあたって親から「同意書」をとり、そして預かるたびに子どもが元気が（病気でないか）の確認をとり、そして預かっている時の子どもの状況を「託児日誌」に書いています。

託児希望者が火曜日教室に集中し、また土曜日の託児ボランティアが不足してきたので、2008年9月から託児は火曜日のみで行うこととなり、現在に至っています。

預かる子どもは12名の登録がありますが、各回3～5名の子どもが来て託児ボランティア8名の方が各回3～4名程度交替で担当しています。

託児ボランティアに子どもを預けた学習者にとって、つかの間の子どもから解放されて日本語が勉強出来る時です。また最近は託児室で子どもと一緒に勉強する学習者もいます。子どもをとおして親と託児ボランティアの交流が行われ、生活に根差した生きた日本語を使う所となっています。



ボランティアの方々

「外国人相談窓口」

(Consultation Service for Foreign Residents)

日本の日常生活に不慣れな外国人からの相談や質問に対応するために、1995年9月にあびこ市民プラザ内に相談窓口を開設しました。翌年に事務局を常設窓口と定め、随時、相談を受け付ける体制を整えました。その後、電話、来訪に加え、メールでの受付も行うこととしました。事務局では必要に応じて、相談員に引き継ぎ、以降の対応を行います。

現在、英語をはじめ、中国語・タイ語・韓国語・スペイン語などに対応する相談員、行政書士の資格を持つ相談員など、15名のボランティア相談員が登録されています。また、日本語教室でも受講生からの簡単な日常生活上の質問や相談に応じています。

相談内容は、衣食住・税金・医療・帰国・求職・労働問題・法律相談・査証・日本語・福祉・文化・教育・こども・DVなど多岐にわたり、簡単な問い合わせから深刻で複数回の対応を要するケースまでさまざまです。年間概ね30件の相談があります。ただ、昨年2020年度はコロナ禍のため、10件ほどに減少しました。

ボランティア相談員だけでは解決できない相談の場合は、市の担当窓口や外部の関連機関に連絡をとり、以降の折衝を要請するなどの連携を大切にしています。相談員は、外国人相談担当者の意見交換会等の外部研修や県・弁護士会などの相談員懇談会などに参加し、入国管理法などの関連法律の学習や他市との情報交換などにも努めています。

2021年の5月から「広報あびこ」抜粋英語版に外国人相談のお知らせを掲載し、相談窓口を周知するようにしました。

在住外国人が少しでも快適な日常を過ごせるよう、今後ともタイムリーで適切な支援をしていきたいと考えています。

年度	主な相談内容（例）
2013	通訳、求職、日本語学習、家庭問題、健康、生活習慣
2014	ボランティア参加、ビザ、通訳、労働問題、住宅解約、健康
2015	求職、健康、受験、身元保証人、日本語学習
2016	入学手続き、健康、DV、年金、失業保険申請
2017	入学手続き、日本留学、DV、就労ビザ、仕事、入館手続き、病院付き添い
2018	国の子供呼び寄せ、戸籍届、日本語教育、家庭トラブル
2019	日本の習慣、タガログ語通訳、ビザ、外国人雇用、詐欺被害
2020	大学受験、コロナ禍の住民登録、学童保育、税申告、簿記

注) 1. 2012年度はデータなし。

2. 翻訳（外国語→日本語、日本語→外国語）依頼を除く。

異文化理解講座

異文化理解講座は、AIRA 会員及び我孫子市民へ異文化情報を提供し、国際理解を深めることを目的として 1993 年にスタートしました。海外からの留学生や海外経験の豊富な市民の方々を講師に迎え、海外の生活や状況についての講演をしていただいています。

1993 年秋に行われた第 1 回は、我孫子市の ALT レガシックさんを講師に迎えた「ファンタスティク・カナダ」と題した講演でした。

小中学校で行われていた「留学生が先生！」プログラムに留学生を派遣している「(公財) 国際理解支援協会」から、インド・セネガル・モルディブ・モンゴル・フィリピン・チュニジア・トルコからの留学生を講師に迎え講演会を行いました。トルコの方には 2 回依頼し、2013 年に開催された 2 回目の講座では受講者の皆さんとトルコ料理を作って楽しみました。

また、2009 年には「貧困・地雷・平和の尊さ 現実をみつめる！時事懇談」と題した講演会を 2 回にわたり開催しました。講師は我孫子市在住の標 昌充^{しめぎ}氏。アフガニスタンとアンゴラの紛争の歴史と現状、国際連合及び JICA の活動の中で自ら地雷の処理に携わった経験に基づく貴重なお話をしてくださいました。

2010 年には日墨交流 400 年の節目にあたり、元 NHK アナウンサー、JICA シニア海外ボランティアである田辺光宏氏を講師に迎え「遠くて近い国メキシコ～御宿での遭難船救助から始まった日本とメキシコの友好～」と題する講演会を開催しました。この講演会では元 AIRA スペイン語講師の橋本コニーさんとメキシコ人教師・留学生によるメキシコ民族伝統舞踊も披露されました。

我孫子在住の外国出身の方の講演会では、ルーマニア出身のコルネリアさん、2016 年には AIRA ドイツ語サロンのヨーグ先生にドイツ、2018 年にスペイン語サロンのグラディス先生にペルー、2019 年に英会話クラスのダニエル先生に英国のお話を伺いました。それぞれの国の歴史や環境に加え、今の国の状況をお話しいただき、大変興味深いものでした。

今後とも様々な国の方々の話や体験談を通じ、その国のことを学び国際理解、国際交流を深めていければと思います。



我孫子国際野外美術展

「我孫子国際野外美術展」は、「いきづく森と水と文化のにおい」をテーマに1998年から毎年秋に我孫子市の布佐の森を中心とする布佐地区で開催され、毎年多くの国内外のアーティストが参加して秋の風物詩となっていました。しかし、2017年10月開催の20周年を区切りに残念ながら幕を閉じました。

同展は布佐地区の公園、森、神社、公民館など広範囲な場所で作品を制作展示して行います。毎年海外から7～8名のアーティストが招待され、国内の芸術家などと共に共同生活を送りながら、森の中や公園の広場にそれぞれの作品をほぼ一週間かけて完成させます。AIRAでは毎年6～7名のボランティアが通訳として、美術展に関連する数々のイベントに参加する等の支援を行いました。

海外からのアーティストが出揃った頃、市長を表敬訪問して作品の構想などを説明し、その後手賀沼のクルージングを行います。AIRAではこれらに通訳として支援しますが、そのほかにも作品の制作が始まり毎夜集まって各自の作品モチーフを解説する場や、東京ツアー、更に地元の小中学校との交流会にも参加して支援を行いました。

「我孫子国際野外美術展」の開会式典では、来賓者や芸術家の挨拶の通訳、その後行われる参加者全員で作品を見学するレクチャーハイキングでの各アーティストが自分の作品を説明する時も通訳します。ただ作品のモチーフが抽象的なものが多く、通訳するのに苦労したのを思い出します。このような文化的な国際イベントが幕を閉じたのは何とも残念な気がします。



2014年「にんげんじゃらし」の前



2015年 布佐小にて



2016年 セレモニー会場（旧井上家）



2016年 作品の解説



2017年（第20回）参加アーティストと（布佐駅）

2017年 レクチャーハイク

『北アリゾナ大学旅行団』の訪問

以前 AIRA で英語語学教室の講師等を担当していたマリー足立さんが、2015 年から北アリゾナ大学（以下 NAU）で日本語を学ぶ学生を伴い、日本の文化等を学ぶ研修旅行に来日します。一行は約 1 か月日本に滞在して我孫子市の他、広島、京都等の関西地方を訪れます。我孫子内では、市長訪問、嘉納治五郎別荘跡、杉村楚人冠記念館、旧村川別荘等市内観光、大学生との交流、日本語の学習、日本文化の体験（茶道・剣道・着付け・書道・琴・尺八・三味線等）とホームステイを行います。また、並木小学校を訪れ、同校の英語教育の支援や日本の小学校生活の一部（給食、掃除）を体験しました。

旅行団一行は、2015 年 18 人、2016 年 10 名、2017 年 8 人、2018 年 14 人、2019 年 16 人でした。2020 年から新型コロナウイルス感染拡大に伴い、来日は中止になっています。

AIRA が旅行団に対して、歓迎会の開催、ホストファミリーの募集及びホームステイ報告会の開催、並木小学校での NAU 学生の授業体験及び児童の英語授業などを支援しました。

歓迎パーティは、会場を中央学院大学で行います。歓迎会に先立ち、同所で大学生（中央学院大学、川村学園女子大）や高校生（中央学院高等学校）との交流会が開催されます。



2019 年 市長表敬訪問



2019 年 杉村楚人冠記念館「関東大震災で息子を亡くした杉村は本立てを地震で倒れない様に固定しました」



2019 年 交流会

交流会では、アイスブレイクを目的としたクイズ、腕相撲、チーム対抗でゲーム、阿波踊り競争、「豆つかみゲーム」などが行われました。中央学院大学の学生の中には外国からの留学生（中国、台湾、サウジアラビア）の参加や、時には小中学生も参加していました。

歓迎会には、交流会参加者、ホストファミリーなどが参加します。歓迎会でも「ロープ・マジック・ゲーム」、「バンブーダンス」、アメリカの「あやとり」などのアトラクションも行われました。

ホームステイ報告会では、各ホストファミリー及び学生から感想が述べられました。ホストファミリーの中には、必ずしも英会話が得意でない方もいて、スマホのアプリを利用して会話をしたり、英会話のできる孫・姪を呼んだり、工夫をしながらコミュニケーションを図っていました。また、NAU の学生も辞書を片手に会話に努めていました。

並木小学校での英語授業は、当初 NAU 学生の授業体験から始まりました。英語（4 年生）、音楽（3 年生）、体育（2 年生）の科目を体験しました。授業終了後は、児童とともに給食を食べ、昼休みには校庭で遊び、清掃も体験しました。

その後、5 年・6 年を対象にした交流授業になりました。グループ毎に分れた NAU の学生が交代で児童と英語で質問したり答えたりして会話を行いました。



2019 年 ジェスチャーゲーム



2018 年 NAU 学生訪問（並木小学校）

『スロベニア共和国代表チームの市内事前キャンプ』

東京 2020 オリンピックは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、1年間延期され 2021 年に開催されました。コロナ禍で外国選手団の事前キャンプ中止が相次ぐ中で、我孫子市では地元や医師会等の協力を得て、国の「参加選手ら向けの新型コロナウイルス対策指針」に沿った対策を取ることで事前キャンプを受け入れました。

2021 年 5 月 24 日（月）、スロベニア共和国駐日大使が我孫子市を訪れ、市と事前キャンプ受け入れの覚書を締結しました。その後、市では受け入れ準備を進め、7 月 10 日（土）我孫子市から AIRA に対し事前キャンプのスケジュールや各担当者の役割について説明会が開催されました。



事前キャンプには、女子柔道チームと男子テコンドーチームが来ましたが、その選手一行に対して市役所職員を中心に、千葉県職員、AIRA、スポーツ推進員などの担当者・役割が時間別・場所別に詳細に定められていました。



AIRA の担当は通訳です。羽田空港到着時の出迎えと宿泊場所である市内ホテルまでの移動、宿泊ホテルからトレーニング会場（市民体育館武道場等）への移動、トレーニング中、宿泊ホテルからオリンピック選手村への移動及び市民との交流会での通訳です。



○事前キャンプ期間及び人数：

- ・女子柔道チーム：2021 年 7 月 14 日（水）～7 月 20 日（火）
マルーシャ・スタンガー Ms.Marusa Stangar 選手 他 2 名
- ・男子テコンドーチーム：7 月 17 日（土）～7 月 21 日（水）
イヴァン・コンラド・トライコビッチ Mr.Ivan Konrad Trajkovics 選手 他 3 名

○市民との交流会：2021 年 7 月 25 日（日）体育館サブアリーナ

スロベニア共和国（女子柔道チーム 3 名）と市内柔道クラブ（中央学院高校柔道部、我孫子警察少年柔道クラブ、隆道館、星野道場、我孫子中学校柔道部）

コロナ禍での東京 2020 オリンピックの開催で、出場選手・市民に様々な制約が課せられました。事前キャンプ受け入れに携わり接触する人は、感染防止のため毎日スクリーニング検査をして陰性である必要があります。選手一行には会食や行動の自粛が求められます。通訳担当者も接触者に該当し検査等を受けて行いました。選手がコロナウイルスに感染せずにオリンピックの試合に出場できたことで、関係者は一安心しました。



なお内閣府から、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたホストタウンの取組みにおいて顕著な功績のあった団体に贈られる「ホストタウン功労者」の感謝状贈呈式が、オンラインで行われ、AIRA も受賞しました。



ホストタウン賞

会員からの投稿

高 康治

我孫子市国際交流協会（AIRA）30周年、オメデトウございます。新型コロナウイルスのパンデミックや東京五輪パラ2020開催などの大きな節目に当たり、30周年記念誌へ投稿できますこと84歳の老兵にとり誠に光栄です。

私は幼少時から世界に憧れ幸い貿易商社マンになり、クウェートとインドネシアのジャカルタに約9年駐在しました。またリタイヤ後も好きな旅を続け、世界の全ての国を制覇しました。半世紀にわたり訪れた国・地域は、南極や北極点を含め275です。各国の旅先でふっと想起したのが、13年余住む我孫子市です。仕事などの関係で頻繁に転居を繰り返しましたが、当市に住み始めて間もなくAIRAに入会しました。

世界の人形館というプライベートミュージアムを無料公開していますが、その主目的の一つが国際化推進に貢献することです。この点でAIRAと価値観を共有し、微力ながら賛助会員としてAIRAのご発展に貢献するべく努めてきました。国際交流まつりでの人形館コレクションの展示、国際交流スピーチ大会での同時講演の講師引き受けなどのイベントが忘れ難いです。

2年前に長年連れ添った妻を亡くし、終活を本格的に始めました。その中心はこの10数年間注力して来た各種社会貢献活動の集大成で、AIRAにも些少ですが寄付しました。その志は終生続ける所存です。半世紀にわたり世界に足跡を残してきた身として、今後とも当市のグローバル化推進の一助になれば幸甚です。

AIRA との関わり

川路 義文

会社を定年退職し、在宅翻訳業を始めたころAIRAに入会しました。15年以上も前のことです。商社マンとしてカナダ、インドネシアやオーストラリアに駐在し、現地の方にはお世話になりました。特に、インドネシアではマラリアにかかり、九死に一生を得ました。現地の方が助けてくれました。バス旅行や忘年会なども楽しい思い出です。もう少し海外の人が活動に参加してくれればいいと思います。国際交流の輪が広がるでしょう。

学校派遣（日本語指導）

北嶋 扶美子

「正しい日本語の指導が必要」と小学校に通訳として派遣された方の実感、そして外国人生徒の保護者の「日本語が分からないと学校の勉強が分からない。日本語を教えてください」という言葉をきっかけに教育委員会と協議を重ね、学校派遣日本語指導が始まりました。突然異文化の国の学校に入り、日本の子どもたちの中でどのような気持ちでいたのでしょうか。2008年に開始して現在まで沢山の日本語ボランティアの方々に携わっていただき、子どもたちに温かいご指導をしていただきましたことに心より感謝しております。子どもたちが、言葉を通して学校生活が楽しくなり、日本に来て良かったと思ってくれることを願いつつ活動を続けています。

「AIRA30周年に寄せて」 笠原 章

人生 60 年と言われたことが過去の話となり、人生 100 年と言っても過言ではない時代となった。「30 年」過ぎ去ってみれば、あつと言う間の年月である。されど、これから 30 年と言われると想像しがたい年月である。多くの人の叡智と努力によって支えられた 30 年であったことであろう。これからも、あゆみを止めることの無いように、微力ながら応援していきたいと思うと共に、この場で学ぶ多くの方々のお役に立てれば幸いに思う。

日本語教室（土曜日） 山口 千鶴

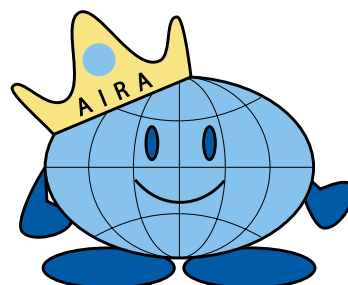
25 年前、夫の仕事で韓国に住み始めたとき、言葉が全くわからず、心細く不便な思いをしました。韓国語を学び始めて、どんどん韓国での生活が楽しくなりました。帰国後、外国人の方の日本語学習のお手伝いができれば、と考え、AIRA でボランティアを始めました。ひとつの部屋で様々な国の人々が日本語のレベル毎にグループに分かれて、熱心に、和やかに勉強しています。コロナ禍で今はオンライン授業ですが、また教室で皆さんに会う日を楽しみにしています。

AIRA 30TH ANNIVERSARY Greg Leach

I became an AIRA member six years ago and have always been very impressed with their wide range of services. Their newsletter is always informative and their foreign language classes and numerous other services make Abiko a better place to live for Japanese and foreign residents alike. I congratulate AIRA on its 30th anniversary and hope they will keep up the good work for many years to come.

<和訳>

私は 6 年前に AIRA の会員になり、その幅広い活動に常に感銘を受けています。「広報あびこ」抜粋英訳版はいつも有益な情報があふれ、また各種外国語講座や他の数多くの活動は、市民の皆さんや在住外国人の方にも同様に、我孫子市がさらに住みよい場所となっています。AIRA が創立 30 周年を迎えられたことに心からお祝いを申し上げますとともに、今後末永くこの素晴らしい活動を続けていかれますよう願っております。



我孫子市国際交流協会 会員数の推移

各年度3月31日現在

年度末	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
総会員数	756人	750人	691人	692人	679人	627人	581人	600人	541人	443人
(うち外国人会員)	110	105	103	96	118	134	132	136	112	61
男性	324	352	290	286	288	273	252	269	235	190
女性	432	398	401	406	391	354	329	331	306	253
市内	670	668	593	589	554	505	471	488	428	346
市外	86	82	98	103	125	122	110	112	113	97
賛助会員	27 <small>団体</small>	30 <small>団体</small>	29 <small>団体</small>	29 <small>団体</small>	28 <small>団体</small>	30 <small>団体</small>	33 <small>団体</small>	34 <small>団体</small>	34 <small>団体</small>	32 <small>団体</small>
市内	26	29	27	27	26	28	32	32	32	32
市外	1	1	2	2	2	2	1	2	2	2

会員内訳	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
個人会員 一般	623人	621人	576人	577人	557人	487人	449人	446人	410人	340人
男性市内	214	251	193	192	190	161	142	147	132	110
男性市外	41	34	42	42	39	39	34	44	35	27
女性市内	324	291	294	287	278	245	229	221	199	169
女性市外	44	45	51	56	50	42	44	34	44	34
個人会員 学生	54人	55人	57人	54人	55人	61人	59人	65人	57人	52人
男性市内	28	29	27	21	13	20	22	22	24	15
男性市外	0	0	1	1	12	16	17	16	11	14
女性市内	26	25	26	30	11	5	10	16	9	6
女性市外	0	1	2	2	19	20	10	11	13	17
家族会員	79人 37 <small>家族</small>	74人 33 <small>家族</small>	58人 28 <small>家族</small>	61人 30 <small>家族</small>	67人 33 <small>家族</small>	79人 38 <small>家族</small>	73人 35 <small>家族</small>	89人 41 <small>家族</small>	74人 35 <small>家族</small>	51人 24 <small>家族</small>
男性市内	41人	37人	26人	29人	32人	35人	35人	38人	29人	22人
男性市外	0	1	1	1	2	2	2	2	4	2
女性市内	37	35	27	30	30	39	33	44	35	24
女性市外	1	1	1	1	3	3	3	5	6	3
賛助会員	27	30	29	29	28	30	33	34	34	32
合計	756	750	691	692	679	627	581	600	541	443



我孫子市国際交流協会 役員等名簿

役職名	所属団体	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
名誉会長	我孫子市長	星野順一郎	星野順一郎	星野順一郎	星野順一郎
顧問	我孫子市議会議長	青木 宏榮	川村 義雄	茅野 理	木村 得道
	我孫子市議会総務企画常任委員長	毛塚 和子	椎名 幸雄	椎名 幸雄	西垣 一郎

理事	中央学院大学	椎名 市郎	椎名 市郎	椎名 市郎	椎名 市郎
	日本電気（株）我孫子事業所	菊池 義和	菊池 義和	菊池 義和	菊池 義和
	（一財）電力中央研究所	入江 真	入江 真	入江 真	加藤 廣記
	（公財）山階鳥類研究所	島津 久永	島津 久永	島津 久永	島津 久永
	我孫子市内金融団 （代表：千葉銀行我孫子支店）	太田 雅美	澤井 謙一	坂元 晋二	坂元 晋二
	我孫子市商工会	井手口 赳	井手口 赳	井手口 赳	村越 孝一
	（一社）我孫子青年会議所	梶 陽介	梶 陽介	梶 陽介	野田 佳宏
	（一社）我孫子医師会	水江 晋一	土井 紀弘	土井 紀弘	土井 紀弘
	我孫子市文化連盟	高橋美代子	高橋美代子	高橋美代子	高橋美代子
	ガールスカウト千葉県第45団	北嶋扶美子	北嶋扶美子	北嶋扶美子	北嶋扶美子
	我孫子市中学校校長会	吉原 幸作	丸 智彦	小澤 豊	小澤 豊
	我孫子市小学校校長会	木村 光宏	木村 光宏	木村 光宏	山口 祐子
	我孫子市助役・副市長	青木 章	青木 章	青木 章	青木 章
	我孫子市教育長	中村 準	中村 準	中村 準	倉部 俊治
	中央学院高等学校	生尾 修三	石田 幸正	石田 幸正	小屋松慶二
	川村学園女子大学	藤井 信行	藤井 信行	藤井 信行	長島一比古
	我孫子市サッカー協会	藤澤 進	藤澤 進	藤澤 進	藤澤 進
	医療法人創造会	土井 紀弘	土井 紀弘	土井 紀弘	土井 紀弘
	我孫子市生涯学習センター	井上 玲子	増田 賢一	増田 建男	増田 建男
	（公社）日本ユネスコ協会連盟	野口 昇	野口 昇	野口 昇	野口 昇
（一社）我孫子市歯科医師会	谷田部茂樹	谷田部茂樹	谷田部茂樹		
賛助会員代表・観光協会代表	染谷 幸和				
A S C (AIRA Senior Club) 会代表					
監事	我孫子ロータリークラブ	志賀 裕司	志賀 裕司	志賀 裕司	志賀 裕司
	我孫子ライオンズクラブ	秋田 武男	松下 勤	松下 勤	松下 勤

理事 (役員)	会 長	早坂 満	早坂 満	早坂 満	菅野 哲哉
	副 会 長	井手口 赳	井手口 赳	井手口 赳	村越 孝一
		北嶋扶美子	北嶋扶美子	北嶋扶美子	北嶋扶美子
		菅野 哲哉	菅野 哲哉	菅野 哲哉	
	総務部会長	足達 法子	足達 法子	足達 法子	足達 法子
	広報部会長	門田 靖英	門田 靖英	門田 靖英	中村 孝行
	交流部会長	張 華	張 華	張 華	早坂 満
	研修部会長	別府宏一郎	別府宏一郎	別府宏一郎	別府宏一郎
	ボランティア部会長	菅野 哲哉	艦 康彦	艦 康彦	艦 康彦
	会 計	鷺見 政夫	鷺見 政夫	鷺見 政夫	井手口 赳
染谷 幸和		染谷 幸和	染谷 幸和	鷺見 政夫	
事務局	坂詰 宮子	坂詰 宮子	坂詰 宮子	坂詰 宮子	
	野坂 鶴代	野坂 鶴代	野坂 鶴代	野坂 鶴代	
	金子ひとみ			荒木 由佳	

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
星野順一郎	星野順一郎	星野順一郎	星野順一郎	星野順一郎	星野順一郎	星野順一郎
佐々木豊治	坂巻 宗男	坂巻 宗男	椎名 幸雄	椎名 幸雄	西垣 一郎	西垣 一郎
西垣 一郎	甲斐 俊光	椎名 幸雄	芹澤 正子	芹澤 正子	戸田智恵子	戸田智恵子

佐藤 英明	佐藤 英明	佐藤 英明	佐藤 英明	市川 仁	市川 仁	市川 仁
湯沢 秀昭	湯沢 秀昭	湯沢 秀昭	田中 英二	田中 英二	福島 慎太郎	福島 慎太郎
入江 真	豊岡 誠司	豊岡 誠司	木本 一雄	木本 一雄	熊坂 真理	熊坂 真理
島津 久永	北條 政利	北條 政利	北條 政利	平岡 考	平岡 考	平岡 考
川口 伸一	川口 伸一	福岡 正幸	白土 健司	白土 健司	川名 善慶	川名 善慶
村越 孝一	村越 孝一	村越 孝一	村越 孝一	村越 孝一	村越 孝一	村越 孝一
野田 佳宏	鈴木 拓哉	高木 宏樹	鈴木 信人	新妻 雄介	山田 寛	山田 寛
土井 紀弘	土井 紀弘	土井 紀弘	土井 紀弘	土井 紀弘	土井 紀弘	土井 紀弘
高橋美代子	柴田 保子	柴田 保子	柴田 保子	柴田 保子	藤間敬紫寿	藤間敬紫寿
北嶋扶美子	北嶋扶美子	北嶋扶美子	北嶋扶美子	北嶋扶美子	北嶋扶美子	北嶋扶美子
中村富士夫	稲村 光男	田中 聡	田中 聡	佐藤 知代	佐藤 知代	佐藤 知代
山口 祐子	山口 祐子	小橋 清隆	小橋 清隆	中居 章	中居 章	谷口 育男
青木 章	青木 章	青木 章	青木 章	青木 章	青木 章	青木 章
倉部 俊治	倉部 俊治	倉部 俊治	倉部 俊治	倉部 俊治	倉部 俊治	丸 智彦
小屋松慶二	中島 優太	中島 優太	矢口美都世	矢口美都世	矢口美都世	矢口美都世
長島一比古	長島一比古	長島一比古	長島一比古	菱田 信彦	菱田 信彦	菱田 信彦
藤澤 進	藤澤 進	藤澤 進	藤澤 進	藤澤 進	藤澤 進	藤澤 進
土井 紀弘	土井 紀弘	土井 紀弘	土井 紀弘	土井 紀弘	土井 紀弘	土井 紀弘
増田 建男	吉成 正明	木下 登志子	菊地 統	菊地 統	菊地 統	菊地 統
野口 昇	野口 昇	野口 昇	野口 昇	野口 昇	野口 昇	野口 昇
	菅野 哲哉	菅野 哲哉	菅野 哲哉			
志賀 裕司	米田 友義	米田 友義	米田 友義	米田 友義	米田 友義	米田 友義
松下 勤	幕内 誠	幕内 誠	栗原周一郎	栗原周一郎	水野 友貴	足立 剛

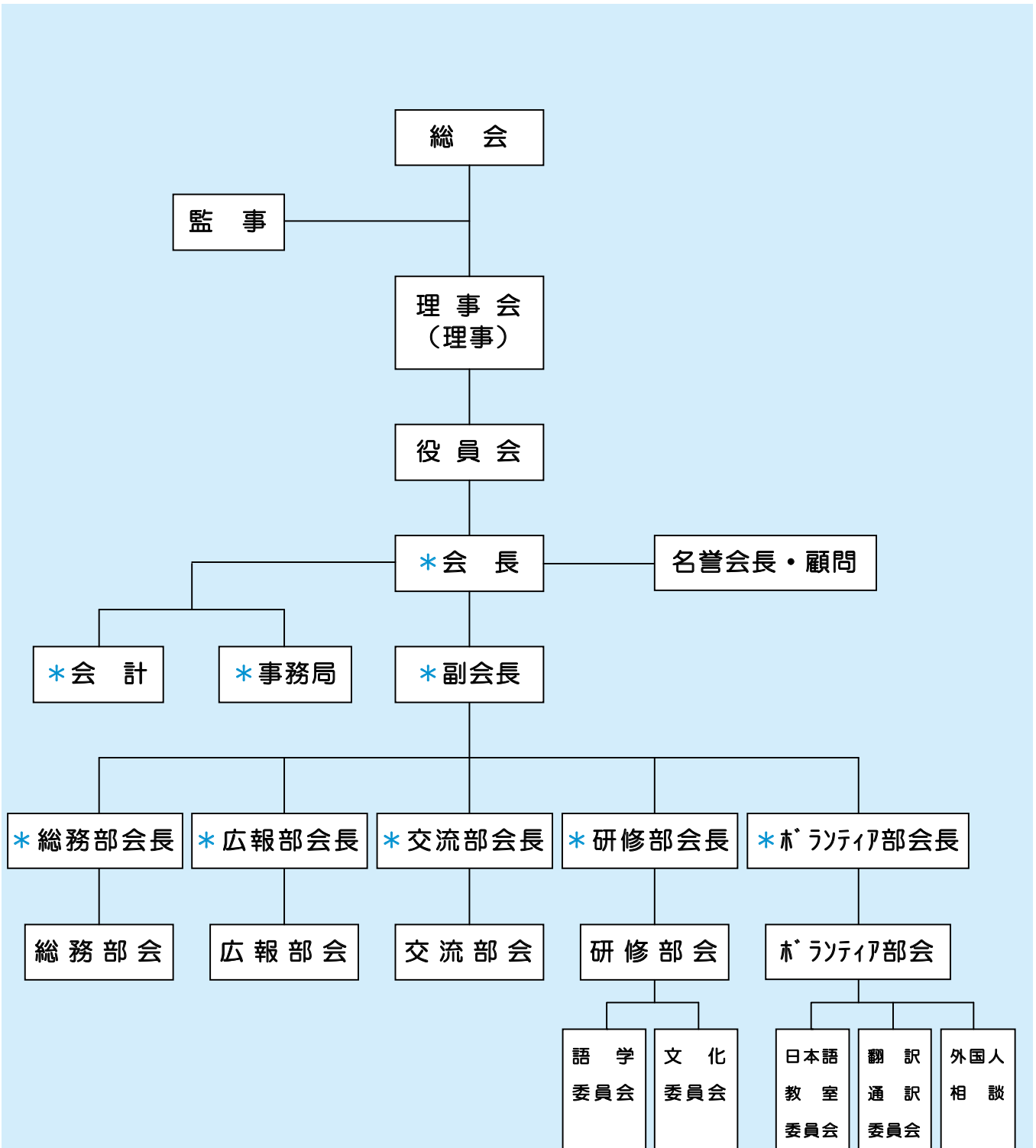
菅野 哲哉	佐藤 英明	佐藤 英明	艦 康彦	艦 康彦	市川 仁	市川 仁
村越 孝一	村越 孝一	村越 孝一	佐藤 英明	市川 仁	村越 孝一	村越 孝一
北嶋扶美子	北嶋扶美子	北嶋扶美子	北嶋扶美子	北嶋扶美子	北嶋扶美子	北嶋扶美子
佐藤 英明			村越 孝一	村越 孝一	艦 康彦	艦 康彦
足達 法子	足達 法子	足達 法子	足達 法子	足達 法子	足達 法子	足達 法子
中村 孝行	中村 孝行	中村 孝行	中村 孝行	中村 孝行	中村 孝行	中村 孝行
早坂 満	早坂 満	早坂 満	早坂 満	早坂 満	早坂 満	早坂 満
別府宏一郎	別府宏一郎	別府宏一郎	上原 正幹	上原 正幹	上原 正幹	上原 正幹
艦 康彦	艦 康彦	艦 康彦	艦 康彦	艦 康彦	艦 康彦	艦 康彦
井手口 赳	井手口 赳	井手口 赳	井手口 赳	井手口 赳	井手口 赳	井手口 赳
鷺見 政夫	依田 勇	依田 勇	依田 勇	依田 勇	依田 勇	依田 勇
坂詰 宮子	坂詰 宮子	坂詰 宮子	坂詰 宮子	坂詰 宮子	坂詰 宮子	坂詰 宮子
野坂 鶴代	金子ひとみ	荒木 由佳	荒木 由佳	荒木 由佳	荒木 由佳	荒木 由佳
荒木 由佳	荒木 由佳	金子ひとみ	古川 優美	古川 優美	古川 優美	古川 優美

我孫子市国際交流協会 賛助会員

(入会順) 2021.04.01 現在

- 1 公益財団法人 山階鳥類研究所
- 2 我孫子市商工会
- 3 株式会社千葉銀行 我孫子支店
- 4 日本電気株式会社 我孫子事業場
- 5 一般財団法人 電力中央研究所
- 6 中央学院大学
- 7 ガールスカウト 千葉県第 45 団
- 8 我孫子市サッカー協会
- 9 中央学院高等学校
- 10 川村学園女子大学
- 11 一般社団法人 我孫子医師会
- 12 医療法人社団創造会 平和台病院
- 13 我孫子市部長会
- 14 一般社団法人 我孫子青年会議所
- 15 有限会社 マエダ印刷
- 16 有限会社 石江商店
- 17 今井タクシー 有限会社
- 18 我孫子ライオンズクラブ
- 19 我孫子ロータリークラブ
- 20 中央学院大学学友会
- 21 晃南土地 株式会社
- 22 アビコ西武観光 株式会社
- 23 株式会社 野田電機
- 24 かくみや工務店
- 25 村越材木店
- 26 株式会社 松下産業
- 27 株式会社 あびこ保険サービス
- 28 株式会社 米田塗装店
- 29 千葉県立我孫子高校
- 30 有限会社 栗原塗装工業
- 31 世界の人形館
- 32 我孫子市茶道連盟

我孫子市国際交流協会 組織図



*印：役員会構成員

我孫子市国際交流協会 規約

(名称)

第1条 この会は、我孫子市国際交流協会（以下「協会」という。）と称し、英語名を Abiko International Relations Association（略称を「AIRA」）とする。

(目的)

第2条 協会は、身近な生活の場における市民主体の活動を通じて、市民一人ひとりの国際化を推進し、もって国際親善に貢献することを目的とする。

(事業)

第3条 協会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 国際交流に関する事業の計画及び実施
- (2) 国際交流に関する情報、資料の収集及び普及啓発
- (3) 国際交流に関する諸団体との広域的な協力
- (4) その他国際交流の推進に必要な事業

(会員)

第4条 会員は、第2条の目的に賛同する個人会員、家族会員及び賛助会員（法人・団体）をもって組織する。

- 2 会員になろうとする者は、入会申込書（別記様式1）に会費を添えて会長に提出しなければならない。
- 3 協会を退会しようとするものは、退会届出書（別記様式2）を会長に提出しなければならない。
- 4 会長は次の各号の一つに該当する会員を役員会の承認を得て退会させることができる。
 - (1) 会費未納の状態が、新会計年度開始日から1ヶ年を経過したとき。
 - (2) 協会の信用を著しく損なう行いがあつたと認められたとき。
 - (3) その他、会員として不適切と認められたとき。

(理事)

第5条 協会に理事を置く。
2 理事の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(理事の選出)

第6条 理事は30名以内とし、総会において会員の中から選出する。
2 任期途中において理事が欠けた場合は理事会において後任者を選出することができ、その任期は前任者の残任期間とする。

(理事の職務)

第7条 理事は協会の会務を処理する。

(監事)

第8条 協会に監事を置く。
2 監事の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(監事の選出)

第9条 監事は2名とし、総会において会員の中から選出する。
2 任期途中において監事が欠けた場合は理事会において後任者を選出することができ、その任期は前任者の残任期間とする。

(監事の職務)

第10条 監事は、協会の会計を監査する。

(役員)

第11条 協会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3名以内
- (3) 部会長 5名
- (4) 会計 2名

2 役員は任期は理事の任期とする。ただし再任を妨げない。

(役員を選出)

第12条 役員は理事の中から互選し、総会の承認を得る。
2 任期途中において役員が欠けた場合は理事会において後任者を選出することができ、その任期は前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第13条 会長は協会を代表し、会務を統括する。
2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、その職を代理する。
3 部会長は部会を代表し、主として部会を統括し、運営する。
4 会計は協会の会計事務をつかさどり、予算及び決算に関する書類を作成する。

(名誉会長及び顧問)

第14条 会長は、理事会に諮って、協会に名誉会長及び顧問を置くことができる。

(会議)

第15条 協会の会議は、総会、理事会及び役員会とし、会長がそれぞれの会議の議長となる。
2 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可決同数のときは議長の決するところによる。

(総会)

第16条 総会は、会長が年1回招集する。ただし、必要に応じて臨時総会を開くことができる。
2 総会において決議又は承認する事項は、次の

とおりとする。

- (1) 予算及び決算に関すること
- (2) 事業計画及び事業報告に関すること
- (3) 規約の改正に関すること
- (4) 役員を選任に関すること
- (5) その他会長が必要と認める事項

(理事会)

第17条 理事会は理事をもって構成し、会長が随時招集する。

- 2 会長が必要と認めるときは、構成員以外の出席を求めることができる。
- 3 理事会において審議する事項は、次のとおりとする。
 - (1) 総会に付議する事項
 - (2) 会長が必要と認める事項

(役員会)

第18条 役員会は役員をもって構成し、会長が随時招集する。

- 2 会長が必要と認めるときは、構成員以外の出席を求めることができる。
- 3 役員会において協議する事項は次のとおりとする。
 - (1) 理事会に付議する事項
 - (2) 協会の活動を円滑に進めるための連絡・調整に関すること
 - (3) その他、会長が必要と認める事項

(専門部会)

第19条 理事会は、協会の事業を推進するため、次の専門部会を設置する。

- (1) 総務部会
- (2) 広報部会
- (3) 交流部会
- (4) 研修部会
- (5) ボランティア部会
- 2 前項各号の専門部会は、別表に掲げる分掌事項の実施にあたる。
- 3 専門部会に部会長及び副部会長を置く。

(経費)

第20条 協会の経費は、次の収入をもって充てる。

- (1) 会費
- (2) 補助金
- (3) 行事等の参加費
- (4) その他の収入

(会費)

第21条 協会の会費は、次のとおりとする。

- (1) 個人会員 年額 一口 2,000円。ただし、学生・生徒は、年額 一口 1,000円とする。
- (2) 家族会員 年額 一口 3,000円
- (3) 賛助会員 年額 一口 10,000円

- 2 年度途中において脱会した場合でも、会費は返還しない。

(会計年度)

第22条 協会の会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。

(事務局)

第23条 協会の事務を処理するため、事務局を置く。

(委任)

第24条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は、役員会の議を経て理事会に諮って決める。

附則

- 1 この規約は、平成4年11月21日から施行する。
- 2 この協会の設立当初の役員任期は、第5条第2項の規程にかかわらず、平成6年度の総会の日までとする。改正後のこの規約は、1998年4月26日から施行する。改正後のこの規約は、1999年5月16日から施行する。改正後のこの規約は、2001年5月13日から施行する。改正後のこの規約は、2006年6月4日から施行する。改正後のこの規約は、2021年4月24日から施行する。

別表(第19条関係)

部会名	分掌事項
総務部会	(1) 協会内の連絡調整及び外部関係諸団体との連絡調整に関すること。 (2) 各部会及び会員相互の交流に関すること。 (3) その他他の部会に属さないこと。
広報部会	(1) 会報の発行及びPR活動に関すること。 (2) 情報提供に関すること。 (3) その他広報活動に関すること。
交流部会	(1) ホームステイ、ホームビジット等に関すること。 (2) 海外の姉妹・友好都市との交流に関すること。 (3) 海外派遣に関すること。 (4) その他外国人との交流に関すること。
研修部会	(1) 外国語研修講座に関すること。 (2) 講演会、シンポジウム等に関すること。 (3) 外国文化の理解を深めるための活動に関すること。 (4) その他研修活動全般に関すること。
ボランティア部会	(1) 通訳ボランティアに関すること。 (2) 各種資料等の翻訳に関すること。 (3) 外国人相談窓口に関すること。 (4) 日本語講座に関すること。 (5) その他ボランティア活動に関すること。

AIRA の活動年表 < 2012.4 ~ 2021.12 >

AIRA の活動		日本・世界の動き
2012年度(平成24年度)		
2012年 5/6	「2012年度 AIRA総会」	<ul style="list-style-type: none"> 4/11: インドネシア、スマトラ島でM8.7の巨大地震発生 5/21: 日本全国各地で25年ぶりの「金環日食」観測
5/23	「東葛地区国際交流協会連絡協議会」(柏市) ※第2回は12/20	<ul style="list-style-type: none"> 5/22: 「東京スカイツリー」開業。高さ634mは自立式鉄塔
6/26	「2012年度日本語の教え方講座」(全24回) ~2013/2/19 於: 中央学院大学	<ul style="list-style-type: none"> 世界一 6/30: 3年半ぶりに「うるう秒」として1秒追加挿入 7/9: 出入国管理法改正、「新しい在留管理制度」施行。外国人登録制度廃止に
7/16	外国人のための文化講座「フィリピンの家庭料理」	<ul style="list-style-type: none"> 7/27~8/12: ロンドン第30回オリンピック。日本は史上最多38個のメダル獲得
9/12	「東葛地区国際交流協会連絡協議会」情報交換会(柏)	<ul style="list-style-type: none"> 8/22: ロシア、世界貿易機関(WTO)に加盟 8/29~9/9: ロンドン・パラリンピック 9/11: 政府、尖閣諸島国有化を決定。日中関係悪化に 10/8: 「ノーベル生理学・医学賞」山中伸弥大教授受賞。
9/23	「第14回 国際交流スピーチ大会」	<ul style="list-style-type: none"> IPS細胞作製成功で。日本人19人目、生理学医学賞は25年ぶり2人目 12/16: 自民党、衆議院選で圧勝。3年ぶり政権奪取
10/13	「2012市民まつり」にAIRA Cultural Dance Group ハンブーダンスで参加	2013年 <ul style="list-style-type: none"> 2/28: ローマ法王ベネディクト16世退位 3/13: 新ローマ第266代フランシスコ法王選出
10/27~ 11/11	「第15回 我孫子市野外美術展」通訳等派遣	
11/1	国際交流バスツアー「都庁見学と下町谷中散策」	
11/9	英語活動支援「並木小学校5年・6年生」	
11/25	「第21回 あびこ国際交流まつり」	
12/8	文化講座「外国人のための交流サロン」	
12/9	「12クリスマス&ポットラック パーティー」(アピスタ)	
2013年度(平成25年度)		
2013年 4/28	「2013年度 AIRA総会」	<ul style="list-style-type: none"> 4/2: 東京・銀座の歌舞伎座が新開場 4/20: 中国四川省雅安、M7.0の地震 6/22: 三浦雄一郎(80歳)、史上最高齢でエベレスト登頂成功 6/22: 「富士山・三保松原」がユネスコ世界文化遺産に登録 9/7: 2020年夏季五輪・パラリンピック、東京開催決定 10/16: 伊豆大島、台風26号で大規模土石流災害 11/5: インド、火星探査機「マンガルヤーン」打ち上げ(2014/9/24: 火星周回軌道到着、アジア初) 11/8: フィリピン中部、台風30号直撃で壊滅的被害 12/4: 「和食-日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録 12/6: 特定秘密保護法が成立 12/14: 中国無人探査機「嫦娥3号」月面着陸、世界で3カ国目
5/8	「東葛地区国際交流協会連絡協議会」(鎌ヶ谷) ※第2回: 12/11	
6/1	「クローチアのタベ i n 布佐」(於: ぶさの風) に出演と通訳派遣	
6/15	「国際交流フェスタ 楽しく! 学ぼう! 地球村」(主催: あびこ楽校協議会) に共催参加(於: アピスタ)	
6/25	外国人のための文化講座「初夏の生け花」	
8/25	「クローチアの世界子供祭」に通訳派遣(於: クローチア・シベニク町)	
8/31	異文化理解講座「講演: 『トルコの食文化』及びトルコ料理教室」	
9/11	「東葛地区国際交流協会連絡協議会」情報交換会(鎌ヶ谷市)	
9/17	文化講座「外国人のための交流サロン」	
9/29	「第15回 国際交流スピーチ大会」	
10/26~ 11/10	「第16回 我孫子国際野外美術展」に通訳等派遣	2014年 <ul style="list-style-type: none"> 2/8~24: ロシア、ソチ冬季オリンピック 3/8~17: ロシア、ソチパラリンピック 3/31: 国際司法裁判所(ICJ)、日本の調査捕鯨に中止命令
11/24	「第22回 あびこ国際交流まつり」	
12/12	国際交流バスツアー「小江戸川越町並み散策」	
12/17	文化講座「タイの家庭料理」	
2014年度(平成26年度)		
2014年 4/4~5	「第4回日タイキッズラグビー交流」通訳派遣(於: 手賀の丘少年自然の家・NECラグビーグラウンド)	<ul style="list-style-type: none"> 4/1: 消費税率5→8%に引上げ。17年ぶり 4/1: 日本、ハーグ条約(国際的子ども奪取に関する条約)加盟 4/1: 福島原発事故による避難指示区域、初の解除 4/16: 韓国、客船セウォル号沈没事故、死亡・行方不明304人 5/31: 国立競技場、建替えの為56年の歴史に幕 6/21: 「富岡製糸場と絹産業遺産群」、ユネスコの世界文化遺産に登録 8/8: WHO、エボラ出血熱で緊急事態宣言(→12月に死者6千人に) 8/21: 「昭和天皇実録」完成、全12,000頁 8/29: 国連、日本にヘイトスピーチの法規制を勧告 9/12: 理化学研究所・先端医療センター病院、ips細胞を用いた再生治療実施、世界初 9/19~10/4: 韓国・仁川アジア大会 10/5: 高円宮次女典子さま、出雲大社権宮司の千家国麿さんと挙式 10/7: 「ノーベル物理学賞」赤崎勇、天野浩、中村修二(青色発光ダイオードLED開発) 10/10: 「ノーベル平和賞」マララ・ユスフザイさん(17歳パキスタン)とカイラシュ・サティヤルティ(インド)に 11/26: 「和紙(石州半紙、本美濃紙、細川紙)、手すき和紙技術」ユネスコの無形文化遺産に登録
4/24	文化講座「フィリピンの家庭料理の紹介」	
4/26	「2014年度 AIRA総会」	
5/8	千葉大学 グローバルボランティア説明会	
5/23	「東葛地区国際交流協会連絡協議会」(流山) ※第2回: 12/5	
6/14	第1回 ドイツ語サロン(以降毎月)	
6/25	「2014年度 日本語の教え方講座」(~2015/2/18)	
7/16~18	「カナダから里帰り小学生体験入学」通訳派遣	
8/22	「国際鳥類学会議参加者の我孫子ツアー」通訳支援	
9/24	「留学生が先生!」(白山中)、以降2015/2/10迄全19校	
9/28	「第16回 国際交流スピーチ大会」	
10/4	ハンブーダンスで「14市民まつり」に参加	
10/5	「国際フェスタ CHIBA」に出展(麗澤大学)	
10/25	「第17回我孫子国際野外美術展」通訳派遣	
11/20	並木小学校英語支援活動	

AIRAの活動		日本・世界の動き
11/21	"アビストリー"で「第23回あびこ国際交流まつり」PR	2015年 ・3/14：北陸新幹線（長野～金沢）開業
11/30	「第23回 あびこ国際交流まつり」	
12/7	国際交流バスツアー「茨城フラワーパーク・納豆工場」	
12/13	日本語教室、指導法ブラッシュアップ講座	
2015年 1/21	柏みどり幼稚園にてバンブーダンスを披露	
2/28	外国人のための文化講座「ポットラックパーティー」	
3/20	子どもスポーツ国際交流協会「タイキッズラグビー交流」通訳派遣	
2015年度(平成27年度)		
2015年 4/21	「駐日リトアニア共和国大使の我孫子市長表敬訪問」通訳派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・4/8：天皇、皇后両陛下がバラオ訪問 ・5/30：小笠原諸島西方沖地震 M8.1 ・6/29：AIB(アジアインフラ投資銀行)設立に57カ国署名 ・7/1：閏秒適用、8時59分60秒が追加 ・7/5：明治の「産業遺産-製鉄、製銅、造船、石炭産業」世界遺産に登録 ・7/20：アメリカ・キューバ国交回復 54年ぶり ・9/10：北関東・東北で記録的豪雨 常総市鬼怒川堤防決壊、甚大な被害発生 ・9/19：ラグビーW杯で日本、強豪南アフリカ破る歴史的勝利 ・10/5：マイナンバー法施行 ・10/5：「ノーベル医学生理学賞」大村智 北里大特別栄誉教授(寄生虫特效薬開発に貢献) ・10/6：「ノーベル物理学賞」梶田隆章(東大教授)(素粒子ニュートリノ質量確認) ・10/10：「舞鶴への生還1945～1956シベリア抑留等日本人の本国への引き上げの記録」「東寺百合文書」、世界記憶遺産登録 ・11/30：中国人民元、主要通貨入り。IMFがドル・ユーロ・円・ポンドに並び基準通貨に加える ・12/7：在京3局(TBS・文化・ニッポン)、難聴災害対策としてFMサイマル放送開始
4/30	「2015年度 AIRA総会」	
5月～	AIRAイブニングクラス(日本語)パイロット事業として開始	
5/29	「東葛地区国際交流協会連絡協議会」(野田)※第2回：12/4	
6/13	「北アリソナ大学研修団ウエルカムパーティー」(中央学院大学)	
7/3～6	北アリソナ大学生ホームステイ 受入れ	
7/11	日本語ブラッシュアップ講座「教科書をより有効に使用方法/漢字の教え方」(アビスタ)	
7/30	外国人のための文化講座「韓国料理」(アビスタ)	
9/27	「第17回 国際交流スピーチ大会」	
11/5	国際交流バスツアー「笠間稲荷神社、春風萬里荘」	
11/29	「第24回 あびこ国際交流まつり」	
12/8	柏みどり幼稚園にてバンブーダンス体験へ派遣	
12/9・10	丸の内KITTEにおける我孫子市アンテナショップに参加	
12/12	日本語ブラッシュアップ講座「初級が終わってからの教え方-Weeklyとその後の中級教材」	
2016年 2/9	並木小学校英語教育及び異文化交流支援	<ul style="list-style-type: none"> ・1/1：中国一人っ子政策終了 1979年からの政策転換 ・2/16：日銀、初のマイナス金利導入 ・3/20：オバマ米大統領キューバ訪問、現職大統領88年ぶり ・3/26：北海道新幹線、新青森～新函館北斗間149km開業
3/4	外国人のための交流サロン「一日おくれのひな祭り」	
3/25～27	子どもスポーツ国際交流協会「タイキッズラグビー交流」通訳派遣	
2016年度(平成28年度)		
2016年 4/13	「チャイルド・ユース・サポート章」受章	<ul style="list-style-type: none"> ・4/1：電力小売りが全面自由化 ・4/1：関西・伊丹両空港が民営化 ・4/14：熊本県、M6.5最大震度7の地震。4/16にもM7.3死者50人 ・5/27：オバマ米大統領、現職大統領初で被爆地広島を訪問 ・6/19：選挙年齢18歳以上に引下げ ・7/17：「国立西洋美術館を含むル・コルビュジエ設計の建築作品」世界遺産に。近代建築運動に貢献 ・8/5～21：リオデジャネイロ五輪、日本金メダル41個等過去最多獲得 ・9/7～18：リオデジャネイロ・パラリンピック ・10/3：「ノーベル生理学・医学賞」大隅良典東大栄誉教授(オートファジー)「細胞の自食作用」の仕組みの解明 ・10/8：阿蘇山 爆発的噴火 36年ぶり ・10/30：訪日外国人、初の年間2千万人突破 アジア観光客増加 ・11/4：地球温暖化対策の新ルール「パリ協定」発効 ・11/30：「山・鉾・屋台行事」(18府県33行事)、ユネスコ無形文化遺産に ・12/22：新潟糸魚川市で大規模火災 約150棟4万㎡焼失
4/14	文化講座「マレーシアの家庭料理の紹介」	
5/7	「2016年度 AIRA総会」	
5/12	千葉大学グローバルボランティア説明会	
5/23	中央学院大学ボランティア・アクティビティで説明会	
5/25	「東葛地区国際交流協会連絡協議会」(我孫子)※第2回：12/16	
6/4	「北アリソナ大学研修団ウエルカムパーティー」(中央学院大学)	
6/27	北アリソナ大学研修団ホームステイ報告会	
7/14	「柔道キューバ代表の我孫子市訪問」通訳派遣	
7/19	文化講座「浴衣をきてみませんか」	
8/27	第9回あびこカップまつり「河童音頭大行進」に参加	
9/20	「2016年度 日本語の教え方講座」～2017/3/15	
9/25	「第18回 国際交流スピーチ大会」	
10/22	「第19回我孫子国際野外美術展」に通訳派遣	
10/29	異文化理解講座「ドイツ 2016」	
11/3	国際交流バスツアー「房総のむら・成田山新勝寺」	
11/6	「ジャパン・バード・フェスティバル」に通訳派遣	
11/27	・「AIRA 設立25周年記念式典」 ・「第25回 あびこ国際交流まつり」	
12/10	日本語教室レベルアップ講座「私はこうして日本語を勉強しました」	

AIRAの活動		日本・世界の動き	
12/10	「2016 イヤーエンドパーティー」	2017年 <ul style="list-style-type: none"> 1/1：台湾交流協会→「日本台湾交流協会」に名称変更 1/20：米、ドナルド・トランプ第45代大統領就任 2/13：金正男氏マレーシアで殺害される 	
12/20	台湾高校生のホームステイ		
2017年 2/12	「2016年度 外国語会話講座幹事会」		
2/23	並木小学校5年生の国際交流授業にGuests派遣		
2017年度(平成29年度)			
2017年 4/28	「2017年度 AIRA総会」	<ul style="list-style-type: none"> 6/1：はがき・切手、10円値上げ62円に 6/12：上野動物園パンダ（香港）誕生 7/31：アイヌ民族の遺骨、ドイツから返還 10/5：「ノーベル文学賞」カズオ・イシグロ（英国籍）受賞 10/6：「ノーベル平和賞」核兵器廃絶国際キャンペーン ICAN、受賞 10/30：「上野三碑」（群馬県）、「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ世界の記録に登録 11/1：外国人技能実習制度に「介護」職種追加 	
5/19	「東葛地区国際交流協会連絡協議会」（柏）※第2回：12/8		
5/25	外国人のための文化講座「台湾の家庭料理」		
6/2・3	北アリゾナ大学旅行団の我孫子市訪問		
5/20	千葉大学「地域NPO活動体験説明会」に参加		
6/25・26	北アリゾナ大学生のホームステイ		
7/8	日本語レベルアップ講座「語彙から考える《やさしい日本語》」		
9/24	「第19回 国際交流スピーチ大会」		
10/21	「第20回 我孫子国際野外美術展」に通訳派遣		
10/11	「2017 AIOE海外、国内招待アーティストの市長表敬訪問」通訳派遣		
10/11	「我孫子高校グローバル人材プロジェクト海外理解講座」講師派遣		
10/27	外国人のための文化講座「習字を体験」		
11/17	駅前放送局「アビストde NIGHT」でAIRAまつりをPR		
11/26	「第26回 あびこ国際交流まつり」		
12/7	国際交流バスツアー「グリコピアCHIBAと関宿城博物館で楽しむ秋！」		
12/9	日本語レベルアップ講座「ゼロ初級者への対応」		
12/9	「イヤーエンドパーティー 2017」		
2018年 2/24	異文化理解講座「ペルー」		2018年 <ul style="list-style-type: none"> 2/9～25：平昌冬季オリンピック、日本メダル13個、最多更新 2/9～25：平昌冬季パラリンピック
2/27	湖北小学校での国際交流授業を支援		
2018年度(平成30年度)			
2018年 4/27	「2018年度 AIRA総会」	<ul style="list-style-type: none"> 4/1：大阪市交通局、地下鉄・バス民営化 5/19：英、ヘンリー王子とメーガン・マークス（アメリカ）挙式 6/29：働き方改革関連法（残業時間に上限、高度プロフェッショナル制度創設等）、70年ぶりの労働法制改正 10/6：築地市場、83年の歴史に幕 10/11：豊洲市場、開場 12/1：BS/CS放送で4K・8K実用放送開始 12/8：外国人労働者受け入れ拡大（新在留技能「特定技能」等新設 12/31：アメリカ、ユネスコ脱退 	
5/25	「東葛地区国際交流協会連絡協議会」（流山）※第2回：12/7		
6月～7月	【北アリゾナ大学旅行団の我孫子市訪問】関係 <ul style="list-style-type: none"> 6/15・16：杉村楚人冠記念館及びウエルカムパーティー 7/4：「旧村川別荘見学と線香花火体験」に通訳派遣 7/5：並木小学校で国際交流 7/8：ホームステイ報告会 		
7/12	外国人のための文化講座「ベトナムの家庭料理」		
9/30	「第20回 国際交流スピーチ大会」		
10/15	「2018年度 日本語の教え方講座」～2019/2/25		
11/3・4	「ジャパン ハードフェスティバル 2018」に通訳派遣		
11/7	我孫子高校「海外理解のための講演会」講師派遣		
11/8	国際交流バスツアー「国営ひたち海浜公園、那珂湊おさかな市場」		
11/25	「第27回 あびこ国際交流まつり」		
2019年 1/27	「2018年度 外国語会話講座幹事会」		【災害多発】 <ul style="list-style-type: none"> 6/18：大阪北部地震、M6.1 6/28～7/8：西日本豪雨で220人死者、中部・東北・北海道にも及び 7/23：猛暑で熊谷市気温41.1度 9/4：台風21号近畿地方縦断、関空閉鎖等 9/6：北海道地震M6.7、苫厚真火力発電所停止
2/24	日本語教育講演会「地域日本語教室のあり方～共に暮らす仲間として～」開催		
2019年度(令和元年度)			
2019年 4/1～	特別講座「トラベルイングリッシュ初級」の開催（全4回）	2019年 <ul style="list-style-type: none"> 2/22：探索機はやぶさ2、小惑星リュウグウ着陸、世界初 	
4/26	「2019年度 AIRA総会」		
5/14	AIRAセミナー「在留資格」を学ぶ		
5/24	「東葛地区国際交流協会連絡協議会」（野田）※第2回：11/29		
4/15	パリ・ノートルダム大聖堂炎上		
4/30	昭仁天皇退位、202年ぶり	<ul style="list-style-type: none"> 5/1：皇太子徳仁親王、天皇即位。平成から令和に改元 6/30：日本、国際捕鯨委員会を脱退 	

< 2012.4 ~ 2021.12 > AIRA の活動年表

AIRA の活動		日本・世界の動き
6/7~27	【北アリゾナ大学旅行団】関係 ・6/7：市長訪問と杉村楚人冠記念館訪問 ・6/9：交流会 ・6/27：並木小学校	・7/6：「仁徳天皇陵など49基の古墳群」、ユネスコ世界文化遺産に登録 ・9/20~11/2：ラグビーワールドカップ2019日本大会、日本8強入り ・10/1：消費税、8%→10%に引き上げ。軽減税率あり ・10/2：「ノーベル化学賞」吉野彰（旭化成）、（リチウムイオン電池の開発） ・10/31：沖縄・首里城火災、正殿など焼失 ・11/23~26：フランスシコローマ教皇来日、24日に広島・長崎訪問 ・12/31：中国武漢市で原因不明の肺炎患者発生
7/13	日本語レベルアップ講座「みんなの日本語」	
8/19	夏季特別講座「トラベルイングリッシュ初級Ⅱ」全4回	
8/10~23	交換留学生のホームステイ	
9/29	「第21回 国際交流スピーチ大会」	
10/4	柏市国際交流協会との情報交換会議	
11/2・3	「ジャパン・バード・フェスティバル 2019」に通訳派遣	
11/3	国際交流バスツアー「銚子（ヒゲタ醤油工場、犬吠埼灯台）」	【台風・豪雨による甚大な被害】 ・9/9：台風15号、千葉市で瞬間57.5mの風、93万戸停電 ・10/12：台風19号、関東甲信・東北に大雨、死者90人
11/24	「第28回 あびこ国際交流まつり」	
12/1	異文化理解講座「これであなたも英語が話せる」	
12/14	「イヤーエンドパーティー 2019」	2020年 ・1/16：国内初のコロナウイルス感染者判明 ・1/31：英、EC（欧州連合）離脱 ・3/2~春休み：小中高校臨時休校 ・3/11：WHO、コロナ感染拡大で、パンデミック（世界的流行）宣言 ・3/14：JR山手線新駅「高輪ゲートウェイ駅」開業、49年ぶり30番目
2020年 1/15	「中国貴陽市小学生と布佐南小での交流会」に通訳派遣	
2/2	「2019年度 外国語会話講座幹事懇談会」	
2/20	外国人のための文化講座「中国の家庭料理」	
2/22	日本語ボランティア・スキルアップ講座	
2020年度(令和2年度)		
2020年 7/3	「AIRA外国語講座幹事相談会」の開催	・4/7~5/25：政府、緊急事態宣言発出 ・6/22：スーパーコンピューター富岳、計算速度で世界一 ・7/1：レジ袋有料化 ・7/3~8：九州一帯豪雨、大規模水害発生、死者75人（~7/31令和2年豪雨） ・11/15：ASEAN加盟国等15か国、RCEP協定締結。世界貿易の3割を占める自由貿易圏誕生 ・12/8：英、ファイザー製コロナワクチン接種開始
7/10	「東葛地区国際交流協会連絡協議会」（我孫子）※第2回：12/11	
7/18	特別講座「オンラインでの日本語授業の進め方（基礎編）」	
9/4	「2020年度 AIRA総会」	
9/26	「2020年度 日本語の教え方講座」 ~2021/2/6	
11/20	文化講座「ホリゾンタルアレンジを作る」	
2021年 1/31	「2020年度 外国語会話講座幹事懇談会」	2021年 ・1/6：アメリカ合衆国議会議事堂襲撃事件 ・1/8~3/21：政府、緊急事態宣言発出 ・1/16：大学共通テスト始まる（旧：大学入試センター試験） ・2/17：日本で新型コロナウイルス・ワクチン接種開始（医療従事者から） ・3/25：東京五輪聖火リレー、福島県から始まる
3/13	日本語教室土曜クラス「オンラインお楽しみ会」	
2021年度(令和3年度)		
2021年 4/24	「2021年度 AIRA総会」	・4/5~6/20：まん延防止等重点措置又は緊急事態宣言発令（我孫子市は、4/28~6/20） ・7/11~9/30：まん延防止等重点措置又は緊急事態宣言発令（千葉県は7/30~9/30緊急事態宣言） ・7/23~8/8：「2020東京オリンピック」、無観客で開催 ・7/27：「北海道・北東北の縄文遺跡群」、ユネスコ世界文化遺産に登録 ・8/24~9/5：東京パラリンピック ・8/31：米軍、アフガニスタンから撤退完了、米国史上最長20年に及ぶ戦争の終結宣言 ・9/12：女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」開幕 ・10/2：土曜日の普通郵便・ゆうメール配達中止 ・10/5：「ノーベル物理学賞」真鍋淑郎（米国籍）、（気候変動モデルの研究） ・10/26：秋篠宮家長女眞子さんと小室圭さん結婚 ・12/8：日本の民間人初のISS滞在（12日間） ・12/22：オミクロン株の市中感染、国内で初確認
5/26	「駐日スロベニア共和国大使の市長表敬訪問」等に通訳派遣	
6/25	オンラインで外国人相談実施	
7/14~ 7/25	「スロベニア共和国オリンピック代表チームの市内事前キャンプ」に通訳派遣	
7/25	「スロベニア女子柔道選手と市民交流会」に通訳派遣	
9/10	「東葛地区国際交流協会連絡協議会」（柏）※第2回：11/26オンライン	
9/18	日本語ボランティア・レベルアップ講座「進度と年間スケジュールを考慮するための1回の授業イメージ~オンラインの今だからできること」	
9/27	AIRA、内閣府から「ホストタウン功労者感謝状」受賞（11/22市長から受領）	
11/3	川村学園女子大学「教職実践演習」に講師派遣	
11/28	・「AIRA設立30周年記念式典」 ・「第29回 あびこ国際交流まつり」	
12/11	「東京2020大会×我孫子市ミュージアム~Hvala Sloveniji~」展に通訳派遣	
12/23	「我孫子東高等学校と中正高級中学のオンライン交流会」に通訳派遣	

「30周年記念誌作成について」

1992年11月に設立したAIRAは、2021年11月で30周年を迎えました。

2020年当初から始まった新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大に伴い、主要事業である「あびこ国際交流まつり」と「国際交流スピーチ大会」は、集団感染防止のための三密（密閉・密集・密接）を避けるため中止になりました。その他の事業は三密対策を施したりオンラインで行うなど、工夫を凝らし継続しましたが、収入の柱である外国語講座受講生の減少やその他事業の中止により、AIRAの収入は激減しました。この状況下で、賛助会員の世界の人形館オーナーの高康治様から多額の寄付をいただきました。

2021年度に入りコロナウイルスへの対応が取られてきたこともあり、30周年記念事業を行う条件が整い、記念式典開催や記念誌発行に向けて動きだしました。

この30周年記念誌の発行については、高康治様からの金銭的支援の他、短期間の作成に各部門の担当者の方々から原稿作成などに協力して頂き完成しました。感謝に堪えません。

〈執筆等協力して頂いた方〉

青木 章	荒井むつみ	市川 仁	上原正幹	大勝俊通
賀来昌代	金子 茂	笠原 章	川井照子	川路義文
北嶋扶美子	Greg Leach	高 康治	小山正邦	小宮山まり子
坂詰宮子	奈良まゆみ	西山清美	濱 理恵	早坂 満
船 康彦	松井康弘	丸尾和代	三輪佳代子	山口千鶴
渡辺泰子				(五十音順)

我孫子市企画財政部企画課

【編集を終えて】

かつて「企業30年寿命説」が唱えられ、創業→発展→安定→衰退というサイクルを経て企業は消滅するというものでした。

30周年記念誌を編集して感じたことは、AIRAはその時々々の社会状況に対応して、今日に至り活動を朽ちることなく継続していること、その活動の底に流れる精神は、「ここで生活している人」の視点で考え行動しているということです。30年を振り返り今後の活動の契機となればと思います。

〈編集・校正（広報部会）：中村孝行・木川敏子・佐藤光男〉



我孫子市国際交流協会 30周年記念誌

2022年4月1日 発行

発行者 我孫子市国際交流協会

〒270-1166 千葉県我孫子市我孫子4-11-1 あびこ市民プラザ内

TEL 04 (7183) 1231 FAX 04 (7183) 2005

URL <http://www.e-aira.jp> Email : info@e-aira.jp

印刷製本 有限会社マエダ印刷

© Abiko International Relations Association 2022 Printed in Japan



我孫子市国際交流協会

